

地域おこし協力隊アンケート調査報告書

令和3年10月
富山県

目次

1. アンケート調査の概要	1
2. アンケート調査の結果	2
(1) 回答者属性	2
(2) 地域おこし協力隊への応募動機	5
(3) 地域や行政との思いの方向性	8
(4) 地域住民・行政の受入体制	12
(5) 活動状況	16
(6) ネットワークづくり	22
(7) 起業	25
(8) 定住・定着支援	29
(9) 任期終了後	32
3. ヒアリング	38
4. 調査結果を受けて	40
5. 参考資料	41

報告書の見方

- ・ 結果は百分比で表示した。その百分比は少数第2位を四捨五入した。したがって個々の比率の合計と全体を示す数値とは一致しないことがある。
- ・ 図表中に「N」と記してあるのは、質問に対する回答者総数で、回答比率（%）が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- ・ 図表中に「無回答」と記してあるのは、回答しなかった者の百分比を示している。

1. アンケート調査の概要

(1) 目的

地域おこし協力隊¹の任期終了後の定住化の促進を図るため、県内の地域おこし協力隊全員（令和3年7月1日現在）へアンケート調査を行うことにより着任前から任期終了後までの分析を行い、今後の県の施策に資するもの。

(2) 調査対象者

県内の地域おこし協力隊全員（令和3年7月1日現在） 135名

内訳

①富山県内の市町村における任期中の地域おこし協力隊員 40名

②富山県内の市町村における地域おこし協力隊の任期終了者² 95名

(3) 調査項目

③回答者属性、②地域おこし協力隊への応募動機、③地域や行政との思いの方向性

④地域住民・行政の受入体制、⑤活動状況、⑥ネットワークづくり、⑦起業

⑧定住・定着支援、⑨任期終了後、⑩ヒアリング調査

(4) 調査方法

・郵送等調査（所属市町村を通じ配布、提出は紙若しくはWEBによる）、ヒアリング調査（アンケート回答者で任期終了者から抽出）

(5) 調査期間

令和3年7月30日～8月20日

(6) 回収結果

・有効回答数 68件

・回収率 69.4%

（住所不明により配布不能 37件）

(7) 調査機関

株式会社ラックス

¹ 地域おこし協力隊は、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に移住して、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組である。隊員は各自治体から「地域おこし協力隊員」として概ね1年以上、3年以下の任期で委嘱を受ける。

² 任期終了者は、任期途中で退任した者を含む。

2. アンケート調査の結果

(1) 回答者属性

①出身地	(%)	(N)
北海道・東北	2.9	2
関東	33.8	23
中部(富山県を除く)	16.2	11
関西	17.6	12
中国	1.5	1
四国・九州・沖縄	2.9	2
国外	2.9	2
富山県 ³	22.1	15
計	100.0	68

②地域おこし協力隊員として赴任した地域	(%)	(N)
富山市	2.9	2
高岡市	1.5	1
魚津市	5.9	4
氷見市	16.2	11
滑川市	0.0	0
黒部市	5.9	4
砺波市	5.9	4
小矢部市	7.4	5
南砺市	10.3	7
射水市	7.4	5
舟橋村	0.0	0
上市町	1.5	1
立山町	11.8	8
入善町	4.4	3
朝日町	17.6	12
無回答	1.5	1
計	100.0	68

³ 生活の拠点が3大都市圏をはじめとする都市地域等にあった富山県出身者のことをいう。住民票を移すことにより、本県においても隊員となることができる。

③性別	(%)	(N)
男性	63.2	43
女性	35.3	24
不明	1.5	1
計	100.0	68
④年齢	(%)	(N)
20～29歳	20.6	14
30～39歳	38.2	26
40～49歳	27.9	19
50歳～59歳	8.8	6
60歳以上	4.4	3
計	100.0	68
⑤地域おこし協力隊員の活動前の職業（分野）名	(%)	(N)
自営業（農林水産業以外）	16.2	11
会社役員	2.9	2
農林水産業	1.5	1
公務員・団体職員	23.5	16
会社員など(正規雇用)	38.2	26
非正規雇用(パートタイム・アルバイト等)	1.5	1
学生	8.8	6
主夫・主婦	0.0	0
無職	1.5	1
その他	5.9	4
計	100.0	68
⑥回答時は、現役の地域おこし協力隊員かどうか	(%)	(N)
任期中	48.5	33
任期終了	51.5	35
計	100.0	68

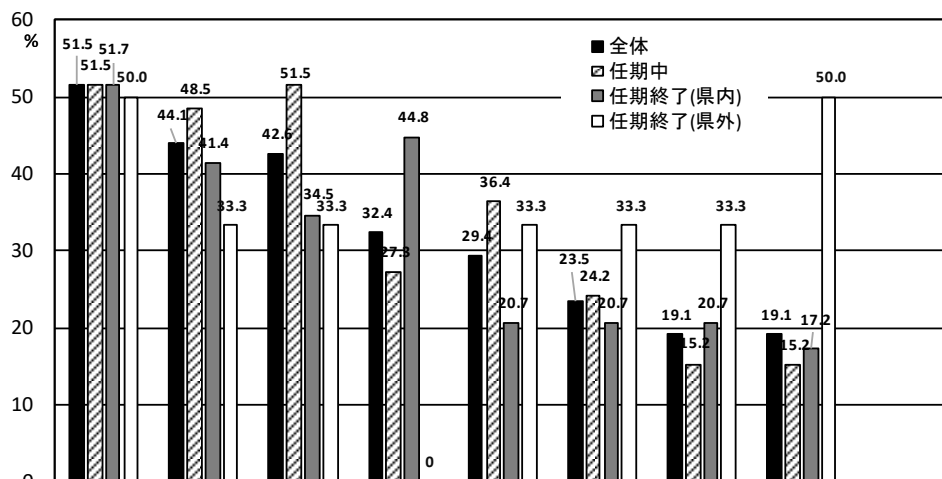
⑦任期終了者で、現在従事している職業（分野）名	(%)	(N)
自営業（農林水産業以外）	34.3	12
会社役員	5.7	2
農林水産業	20	7
公務員・団体職員	14.3	5
会社員など（正規雇用）	14.3	5
非正規雇用（パートタイム・アルバイト等）	2.9	1
学生	0.0	0
主夫・主婦	0.0	0
無職	2.9	1
その他	5.7	2
計	100.0	35

(2) 地域おこし協力隊への応募動機

① 応募動機

問2 あなたが「地域おこし協力隊」に応募した理由は何ですか。もっともよくあてはまるものを以下から三つ選んで○をつけてください。

- ・全体では、「地方で暮らしたかったから」が最も多く51.5%、「知識や経験を活かしたかったから」が44.1%、「地域の活性化の役に立ちたかったから」が42.6%と続く。
- ・任期終了後の県内定住・県外移住別では、県内定住者は地域に対する役割や思い出に関する動機が県外移住者を上回り、県外移住者は自分自身のやりがいや収入といった動機が県内定住者を上回っている。
- ・その他の回答には、「知人から誘われた」などの回答が見られた。



	合計(人)	地方で暮らしたかったから	知識や経験を活かしたかったから	地域の活性化の役に立ちたかったから	任地に定住する手段として	やりがいや達成感を得るため	募集期間や活動期間が適切だったから	収入を得るため	その他	無回答
全体	68	51.5	44.1	42.6	32.4	29.4	23.5	19.1	19.1	0.0
任期中 ^{※1}	33	51.5	48.5	51.5	27.3	36.4	24.2	15.2	15.2	0.0
任期終了(県内) ^{※2}	29	51.7	41.4	34.5	44.8	20.7	20.7	20.7	17.2	0.0
任期終了(県外) ^{※3}	6	50.0	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	50.0	0.0

※1 任期中 : 回答者属性⑥で「地域おこし協力隊任期中」と回答

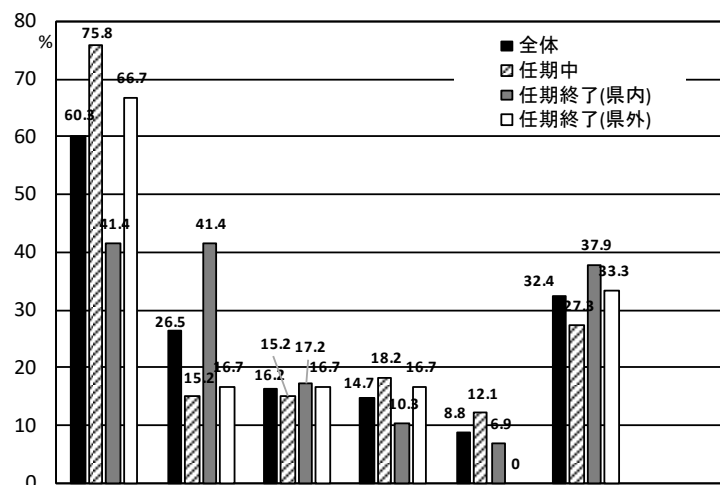
※2 任期終了(県内) : 回答者属性⑥で「地域おこし協力隊は退任」と回答し、問25で現在の住まいを「富山県内」と回答

※3 任期終了(県外) : 回答者属性⑥で「地域おこし協力隊は退任」と回答し、問25で現在の住まいを「富山県外」と回答

②任地選択動機

問3 あなたが、協力隊の任地を選んだ理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- ・全体では、「活動内容が魅力的だったから」との回答が60.3%となっている。
- ・任期終了後の県内定住・県外移住別では、県外移住者は、「活動内容が魅力的だったから」との回答が県内定住者よりも約25ポイント高い一方で、「任地とのつながりがあったから」との回答は県内定住者よりも約25ポイント低い。
- ・その他の回答には、「地域の魅力に惹かれたこと」や、「OBや現役隊員の話をつきかきにした」との回答が見られた。

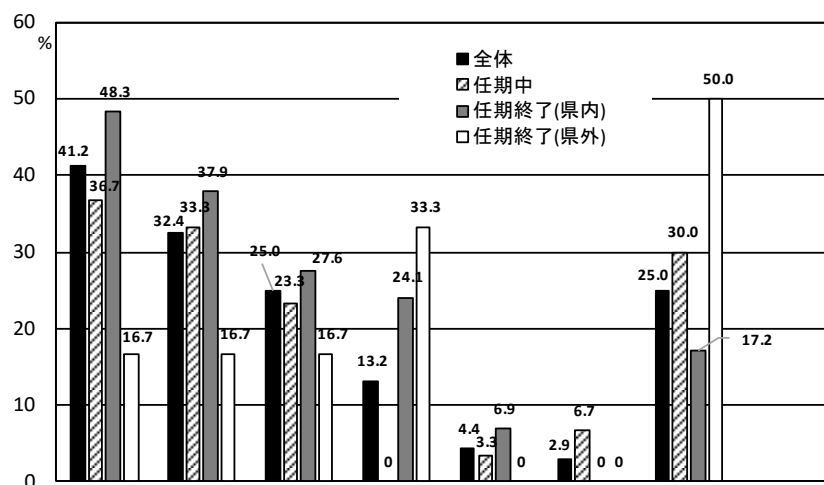


	合計 (人)	活動内容が魅力的	任地とのつながり	支援体制が充実	周囲の任地を勧め	家族の理解が得	その他	無回答
全体	68	60.3	26.5	16.2	14.7	8.8	32.4	0.0
任期中	33	75.8	15.2	15.2	18.2	12.1	27.3	0.0
任期終了(県内)	29	41.4	41.4	17.2	10.3	6.9	37.9	0.0
任期終了(県外)	6	66.7	16.7	16.7	16.7	0.0	33.3	0.0

③情報収集方法

問4 あなたが、活動している（いた）地域の「地域おこし協力隊」に応募するにあたり、募集要項や地域の情報を得たのはどのような媒体・ルートからですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- ・全体では、「任地の自治体のホームページ」との回答が最も多く41.2%、次いで「移住・交流推進機構(JOIN)のホームページ」との回答は、32.4%となっている。
- ・その他の回答には、「自治体担当者やOB・現役隊員などから情報収集を行った」とや、「SNSによる情報収集」などの回答が見られた。



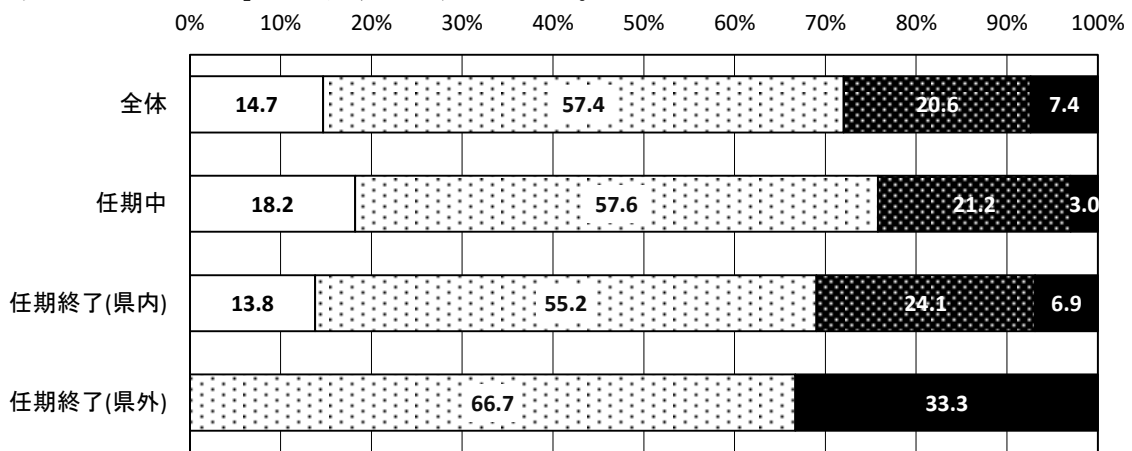
	合計(人)	任地の自治体のホームページ	移住・交流推進機構(JOIN)のホームページ	富山県内の家族・親戚・友人・知人	イベントや転職に関するフェア・富山県のホームページ	富山県外の家族・親戚・友人・知人	その他	無回答	
全体	68	41.2	32.4	25.0	13.2	4.4	2.9	25.0	0.0
任期中	30	36.7	33.3	23.3	0.0	3.3	6.7	30.0	0.0
任期終了(県内)	29	48.3	37.9	27.6	24.1	6.9	0.0	17.2	0.0
任期終了(県外)	6	16.7	16.7	16.7	33.3	0.0	0.0	50.0	0.0

(3) 地域や行政との思いの方向性

① やりたいことと行政の期待することの方向性

問5-1 「地域おこし協力隊への応募動機や、隊員としてやりたいこと」と、「行政（市町村）が地域おこし協力隊（あなた）に期待すること」は、どれくらい一致していましたか。以下から一つ選んで○をつけてください。

- ・全体では、「一致していた」との回答が14.7%、「ほぼ一致していた」との回答が57.4%であり、「ほぼ一致していた」と「一致していた」との回答の合計は、72.1%と7割を超える。
- ・任期終了後の県内定住・県外移住別では、県外移住者は「一致していた」の回答は無く、「一致していなかった」との回答が3割を超える。



□一致していた □ほぼ一致していた ■あまり一致していなかった ■一致していなかった

	合計 (人)	一致 して いた	いほ たほ 一致 して	てあ いま なり か一 つ致 たし	か一 つ致 たし てい な	無 回 答
全体	68	14.7	57.4	20.6	7.4	0.0
任期中	33	18.2	57.6	21.2	3.0	0.0
任期終了(県内)	29	13.8	55.2	24.1	6.9	0.0
任期終了(県外)	6	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0

問5-2 問5-1の回答を選んだ理由を以下にご自由にお書きください。

○やりたいことは「（ほぼ）一致していた」⁴の主な意見

- ・募集前に自分がやりたいことを行政と話した。また、そうしたことによりそのとおりに進んだ。
- ・募集時に条件に合う地域を選んでいった。
- ・行政からのミッションは、自分の経験、知見を活かせるものだった。
- ・行政と目標の共通認識を図りながら、業務を進めた。
- ・活動していく中で、行政、地域と共通認識を持つようにしながら業務を進めた。1年目はなかなか難しかった。
- ・行政は異動があり思いが通じないときもあったが、共通認識ができるように双方で努力していたと思う。
- ・定住に向けて活動支援をしていただいた。
- ・活動内容に裁量を持たせていただいたので、活動しやすかった。

○やりたいことは「（あまり）一致していなかった」の主な意見

- ・募集要項と活動内容が一致していなかった。
- ・幅広く活動したかったが、商品管理、施設管理等が業務内容であった。
- ・目標（ビジョン）が不明確でどうすればよいのか理解できず、活動がしにくかった。
- ・複数課（募集、配属等）の世話になったが、目標の共通認識がされておらず活動がしにくかった。

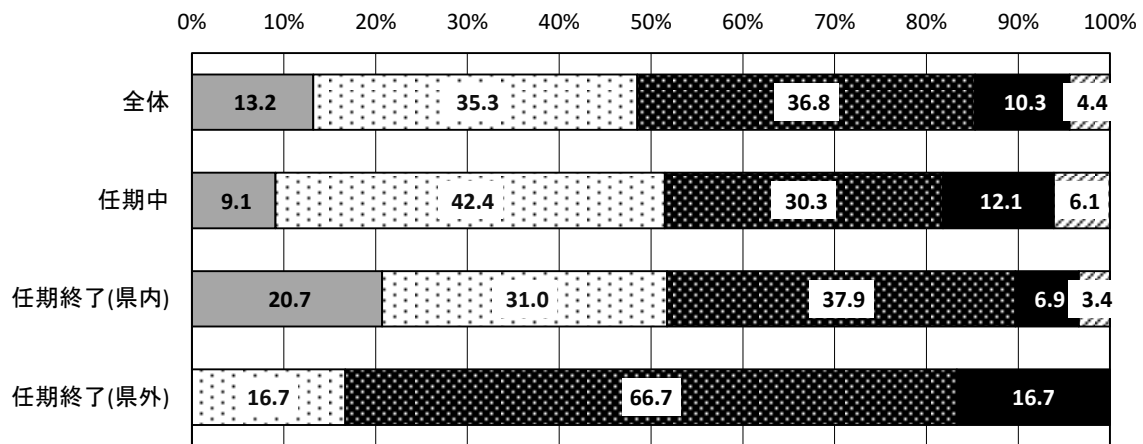
⁴ 下記のとおり（ ）書きを使用した表現とした。以下、類似の項目の場合、同様とする。

凡例：「ほぼ一致していた」又は「一致していた」 → 「（ほぼ）一致していた」

②行政と地域の期待することの方向性

問6-1 「行政（市町村）が地域おこし協力隊（あなた）に期待すること」と、「地域の住民（又は組織の構成員）があなたに期待すること」は、どれくらい一致していましたか。以下から一つ選んで○をつけてください。

- ・全体では、「（ほぼ）一致していた」と「（ほぼ）一致していなかった」が半々であった。
- ・任期終了後の県内定住・県外移住別では、「（ほぼ）一致していた」との回答は県内定住者が51.7%である一方で、県外移住者の回答が16.7%と35ポイント低くなっている。



一致していた
 ほぼ一致していた
 あまり一致していなかった
 一致していなかった
 無回答

	合計 (人)	一致 して いた	いほ たほ 一致 して	てあ いま なり か一 つ致 たし	か一 つ致 たし てい な	無 回 答
全体	68	13.2	35.3	36.8	10.3	4.4
任期中	33	9.1	42.4	30.3	12.1	6.1
任期終了(県内)	29	20.7	31.0	37.9	6.9	3.4
任期終了(県外)	6	0.0	16.7	66.7	16.7	0.0

問6-2 問6-1の回答を選んだ理由を以下にご自由にお書きください。

○地域と行政の期待の方向性が「（ほぼ）一致していた」の回答者の主な意見

- ・地域おこし協力隊員のスキル、知見が必要とされていた。
- ・自分の活動内容は地域の期待とイコールだった。
- ・地域が望んでいることに対して行政も協力、フォローを行っていた。
- ・地域、行政の中では最初はちょっとした仕事しかさせてもらえなかったが、時間をかけて少しずつ信頼を得、企画を任せてもらった。

○地域と行政の期待の方向性が「（あまり）一致していなかった」の回答者の主な意見

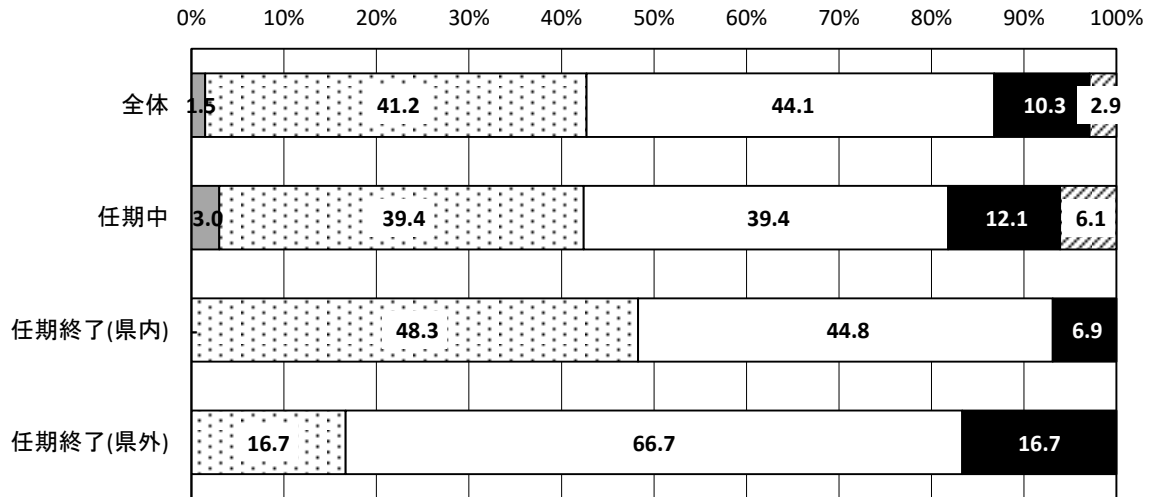
- ・目標もないため地域の期待も不明であった。
- ・行政からの活動内容を示されていないため期待は不明、また、地域は要望が多く活動内容を特化できなかった。
- ・応募要項上の業務内容と行政が期待する活動内容と異なることがあり、地域から苦情を受けることがあった。
- ・行政、地域、就業先が目標についての理解度が異なっていた、共通認識がなかった。
- ・地域とのつながりが希薄であり、期待感は不明であった。

(4) 地域住民・行政の受入体制

①周知状況

問7 あなたが活動した地域の住民は、市町村職員から、地域おこし協力隊が来ることについてあらかじめどれくらい周知されていましたか。以下から一つ選んで○をつけてください。

- ・全体では、「(あまり)周知されていなかった」との回答が54.4%、「(だいたい)周知されていた」との回答が42.7%と、「(あまり)周知されていなかった」の回答が上回る。
- ・任期終了後の県内定住・県外移住別では、「(だいたい)周知されていた」との回答は県内定住者が48.3%である一方で、県外移住者の回答が16.7%と約32ポイント低くなっている。



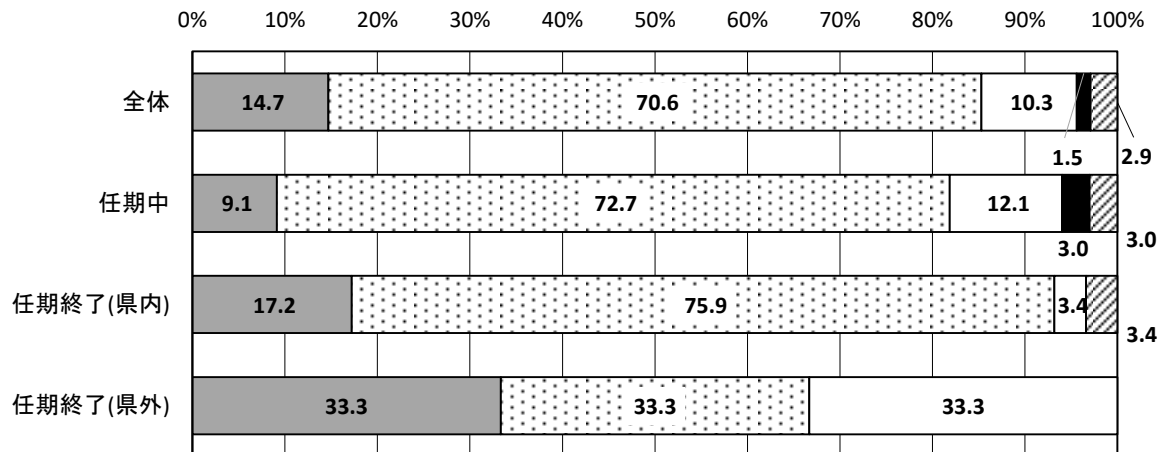
地域住民に周知されていた 地域住民にだいたい周知されていた
 地域住民にあまり周知されていなかった 地域住民に周知されていなかった
 無回答

	合計(人)	地域住民に周知された	地域住民にだいたい周知された	地域住民にあまり周知されなかった	地域住民に周知されなかった	無回答
全体	68	1.5	41.2	44.1	10.3	2.9
任期中	33	3.0	39.4	39.4	12.1	6.1
任期終了(県内)	29	0.0	48.3	44.8	6.9	0.0
任期終了(県外)	6	0.0	16.7	66.7	16.7	0.0

②信頼関係

問8 任期中、あなたと地域住民との間に信頼関係がある(あった)と思いますか。以下から一つ選んで○をつけてください。

- ・全体では、「(ある程度)信頼関係がある(あった)」との回答が、85.3%と8割を超える。
- ・任期終了後の県内定住・県外移住別では、「(ある程度)信頼関係がある(あった)」との回答は県内定住者が93.1%である一方で、県外移住者の回答が66.6%と約27ポイント低い。



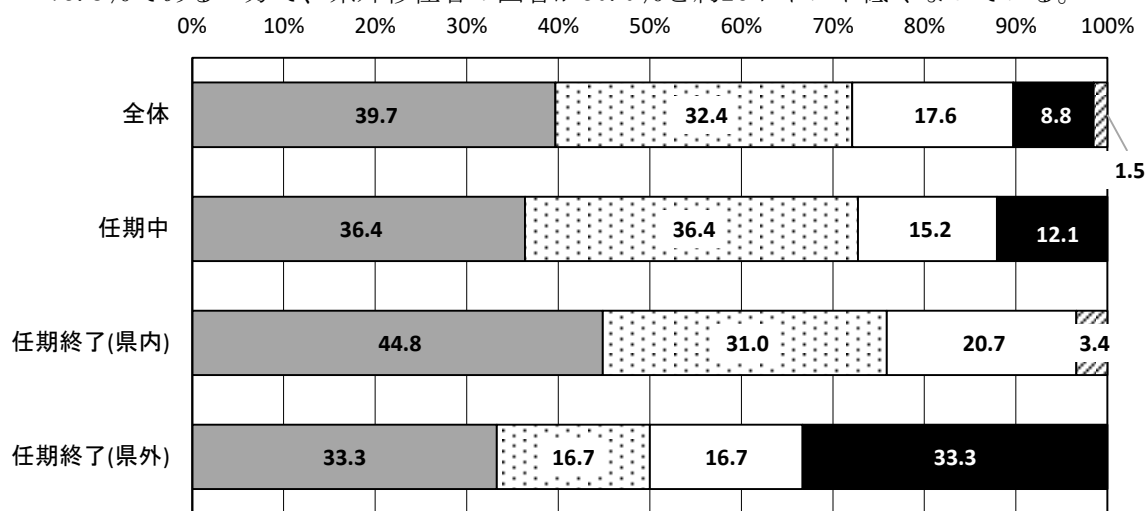
地域住民との間に信頼関係がある(あった) 地域住民との間にある程度信頼関係がある(あった)
 地域住民との間にあまり信頼関係は無い(無かった) 地域住民との間に信頼関係は無い(無かった)
 無回答

	合計 (人)	が地 域住 民と の間 に信 頼関 係	信地 頼域 関住 係民 があ のあ る間 にあ る程 度	頼地 関域 係住 民と の間 に無 か ま たり 信	は地 域住 民と の間 に信 頼関 係	無 回 答
全体	68	14.7	70.6	10.3	1.5	2.9
任期中	33	9.1	72.7	12.1	3.0	3.0
任期終了(県内)	29	17.2	75.9	3.4	0.0	3.4
任期終了(県外)	6	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0

③情報共有

問9 任期中、あなたと地域住民や市町村担当者との間で活動状況の共有はありますか（ありましたか）。以下から一つ選んで○をつけてください。

- ・全体では、情報共有が「十分（多少）ある（あった）」との回答が、72.1%であり、「ほとんど無い(無かった)」との回答は、8.8%であった。
- ・任期終了後の県内定住・県外移住別では、「十分（多少）あった」との回答は県内定住者が75.8%である一方で、県外移住者の回答が50.0%と約26ポイント低くなっている。



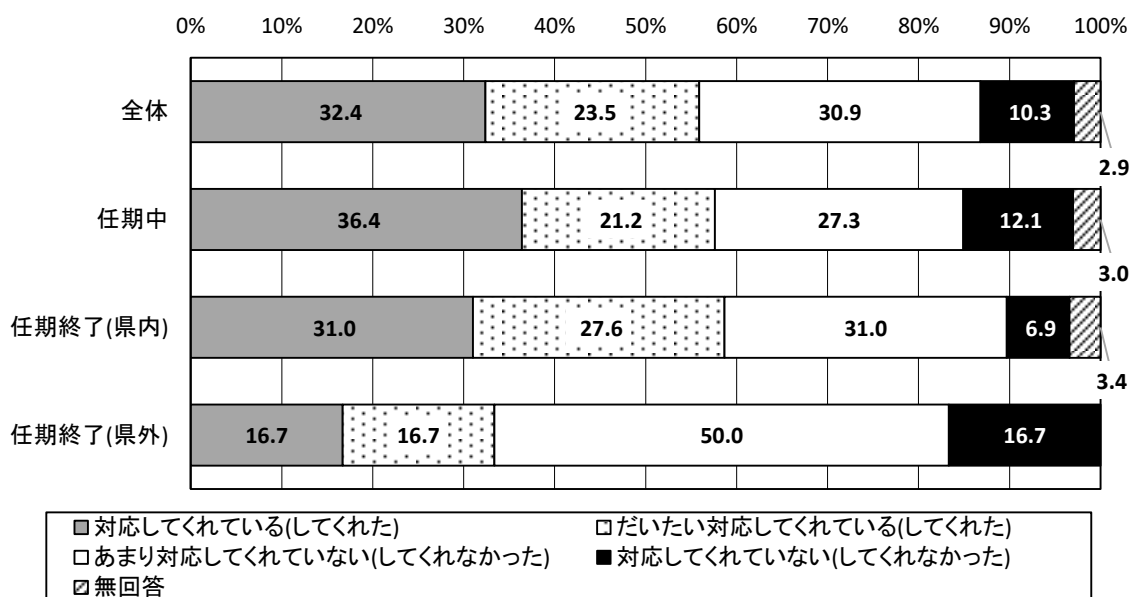
■ 十分ある(あった) □ 多少ある(あった) □ あまり無い(無かった) ■ ほとんど無い(無かった) ▨ 無回答

	合計 (人)	(十分 あった)	(多少 あった)	(あま かり ない)	(ほと んど ない)	無 回 答
全体	68	39.7	32.4	17.6	8.8	1.5
任期中	33	36.4	36.4	15.2	12.1	0.0
任期終了(県内)	29	44.8	31.0	20.7	0.0	3.4
任期終了(県外)	6	33.3	16.7	16.7	33.3	0.0

④行政の対応

問10 任期中、市町村職員（担当者）は、地域おこし協力隊からの意見を踏まえて何らかの対応（説明、改善など）をしてくれますか（してくれましたか）。以下から一つ選んで○をつけてください。

- ・全体では、55.9%が「（だいたい）対応してくれている（してくれていた）」と回答している。
- ・任期終了後の県内定住・県外移住別では、「（だいたい）対応してくれた」との回答は県内定住者が58.6%である一方で、県外移住者の回答が33.4%と約25ポイント低くなっている。



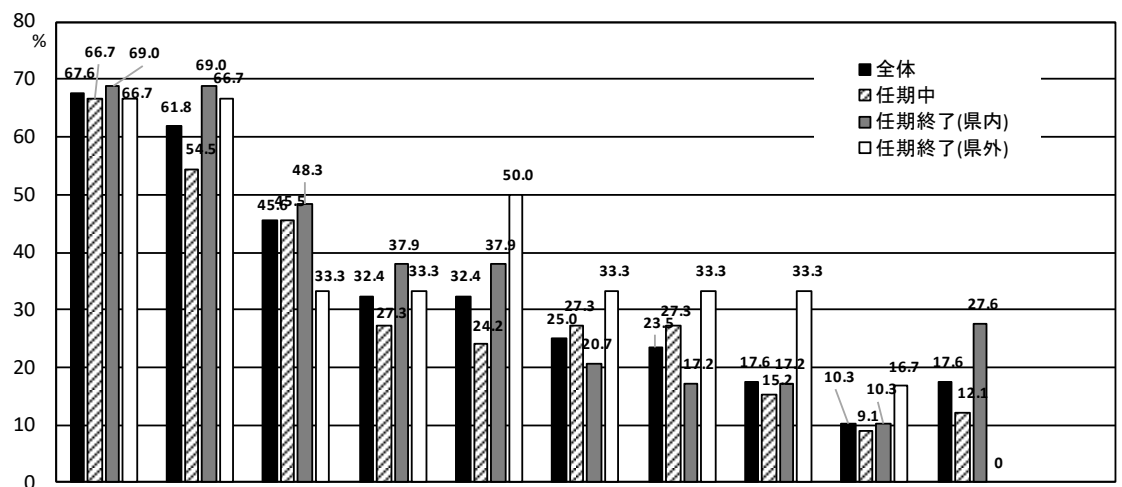
	合計（人）	く対応してくれている（して	るだ（いたいてく対応してくれてい	いあ（しりてく対応してくれてい	て対（くれなかつたいてい	無回答
全体	68	32.4	23.5	30.9	10.3	2.9
任期中	33	36.4	21.2	27.3	12.1	3.0
任期終了(県内)	29	31.0	27.6	31.0	6.9	3.4
任期終了(県外)	6	16.7	16.7	50.0	16.7	0.0

(5) 活動状況

①活動の取り組み

問11 あなたは、「地域おこし協力隊」としてどのような活動に取り組んでいますか（いましたか）。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- ・全体では、「地域の情報発信・PR」の回答が67.6%、「イベントの企画・運営」の回答が61.8%で6割を超える。
- ・その他の回答には、「国際交流」「関係人口づくり」「地域資源の商品化」などの回答が見られた。

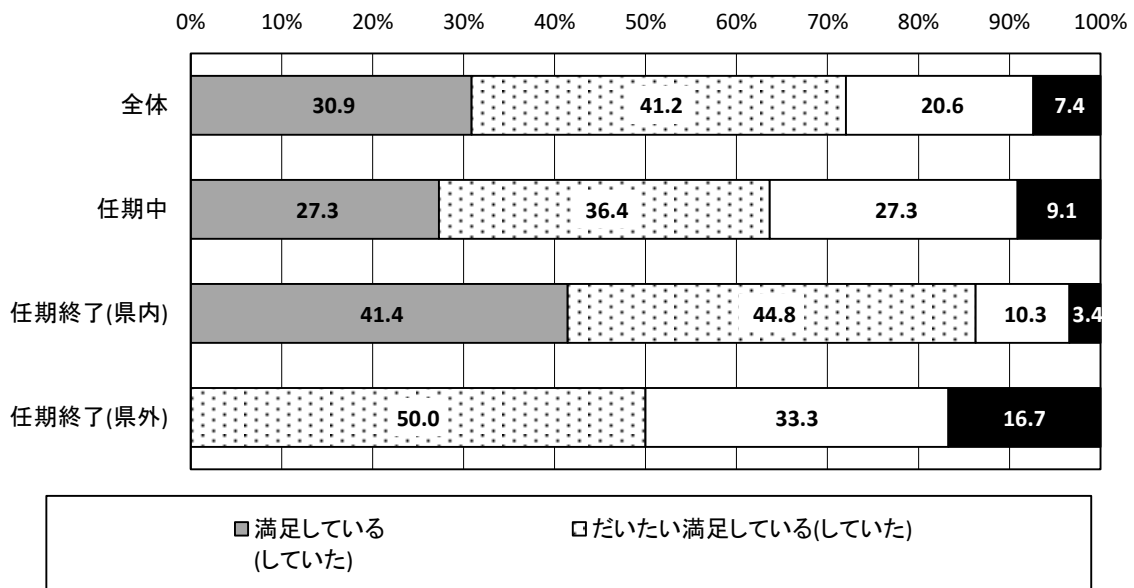


	合計(人)	地域の情報発信・PR	イベントの企画・運営	地域組織の活動	農林水産業	移住・定住促進	観光資源の企画・開発	地域産品の販売・流通	空き店舗・空き家の活用	観光施設の運営・宿泊	その他	無回答
全体	68	67.6	61.8	45.6	32.4	32.4	25.0	23.5	17.6	10.3	17.6	0.0
任期中	33	66.7	54.5	45.5	27.3	24.2	27.3	27.3	15.2	9.1	12.1	0.0
任期終了(県内)	29	69.0	69.0	48.3	37.9	37.9	20.7	17.2	17.2	10.3	27.6	0.0
任期終了(県外)	6	66.7	66.7	33.3	33.3	50.0	33.3	33.3	33.3	16.7	0.0	0.0

②任期中の仕事の満足度

問12 任期中の仕事に満足していますか（していましたか。）以下から一つ選んで○をつけてください

- ・全体では、「（だいたい）満足している（していた）」との回答が72.1%と約7割で、「（あまり）満足していない（していなかった）」との回答が約3割だった。
- ・任期終了後の県内定住・県外移住別では、「（だいたい）満足している」との回答は県内定住者が86.2%である一方で、県外移住者の回答が50.0%と約36ポイントの差がある。

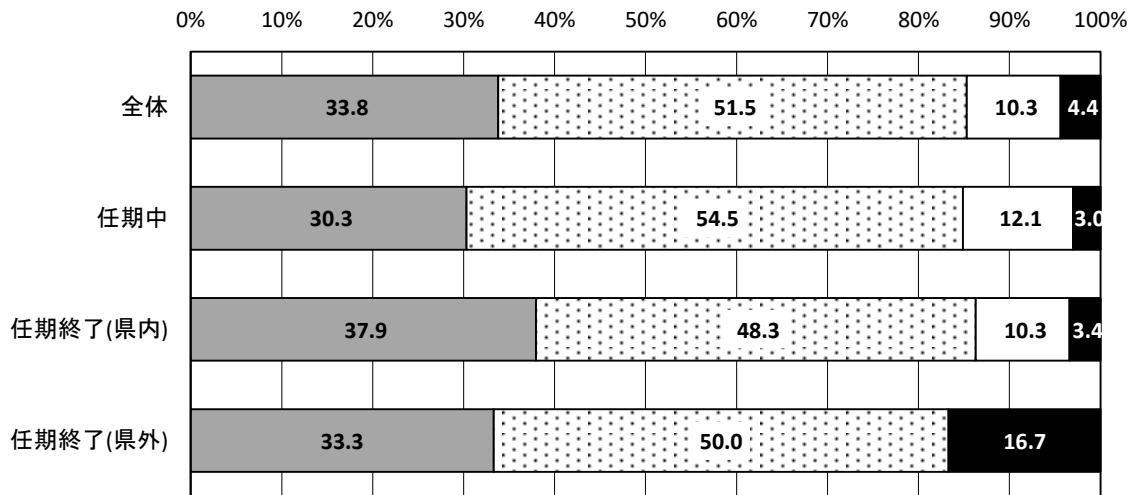


	合計（人）	（満足している）	（だいたい満足している）	（あまり満足しなかった）	（満足していない）	無回答
全体	68	30.9	41.2	20.6	7.4	0.0
任期中	33	27.3	36.4	27.3	9.1	0.0
任期終了(県内)	29	41.4	44.8	10.3	3.4	0.0
任期終了(県外)	6	0.0	50.0	33.3	16.7	0.0

③活動の期待度

問13 あなたが、地域おこし協力隊として活動を開始される前、活動に対する「期待度」はどの程度でしたか。以下から一つ選んで○をつけてください。

- ・全体では、8割を超える85.3%が「(ある程度)期待していた」と回答している。
- ・任期終了後の県内定住・県外移住別では、県内定住者と県外移住者の間に大きな差は無い。



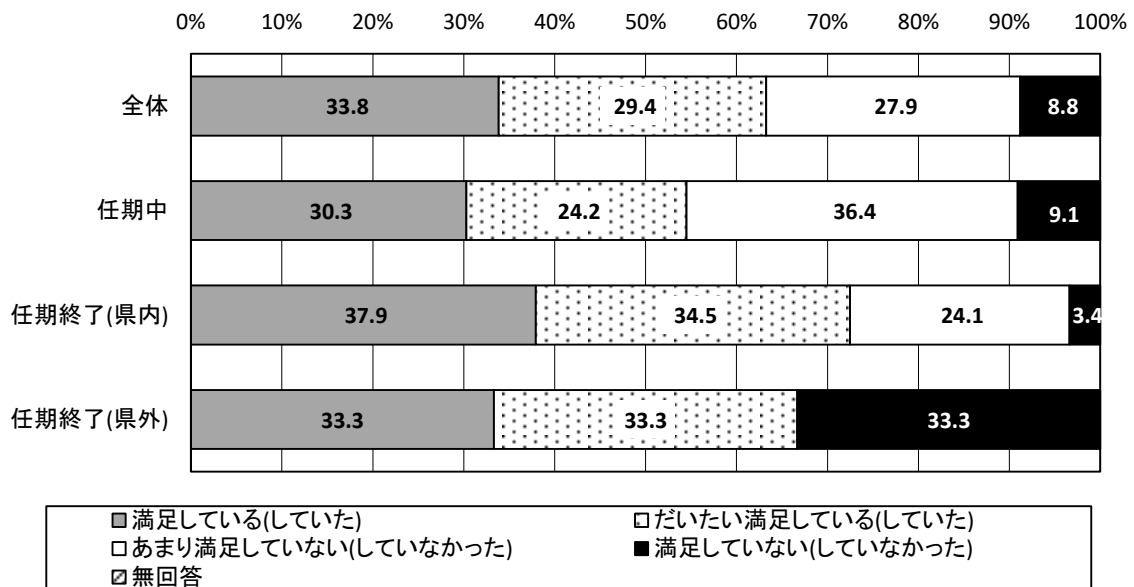
期待していた
 ある程度期待していた
 あまり期待していなかった
 期待していなかった

	合計 (人)	期待 して いた	しあ てる い程 た度 期待	てあ いま なり か期 った し	か期 った して いな	無 回 答
全体	68	33.8	51.5	10.3	4.4	0.0
任期中	33	30.3	54.5	12.1	3.0	0.0
任期終了(県内)	29	37.9	48.3	10.3	3.4	0.0
任期終了(県外)	6	33.3	50.0	0.0	16.7	0.0

④活動の満足度

問14 活動を開始後、活動への「満足度」はどの程度ですか（でしたか）。以下から一つ選んで○をつけてください。

- ・全体では、活動開始前の期待度が8割を超える一方で、活動開始後、「(だいたい)満足している(していた)」との回答が63.2%にとどまった。
- ・任期終了後の県内定住・県外移住別では、「(だいたい)満足していた」との回答は県内定住者が72.4%である一方で、県外移住者の回答が66.6%と約6ポイント低くなっている。

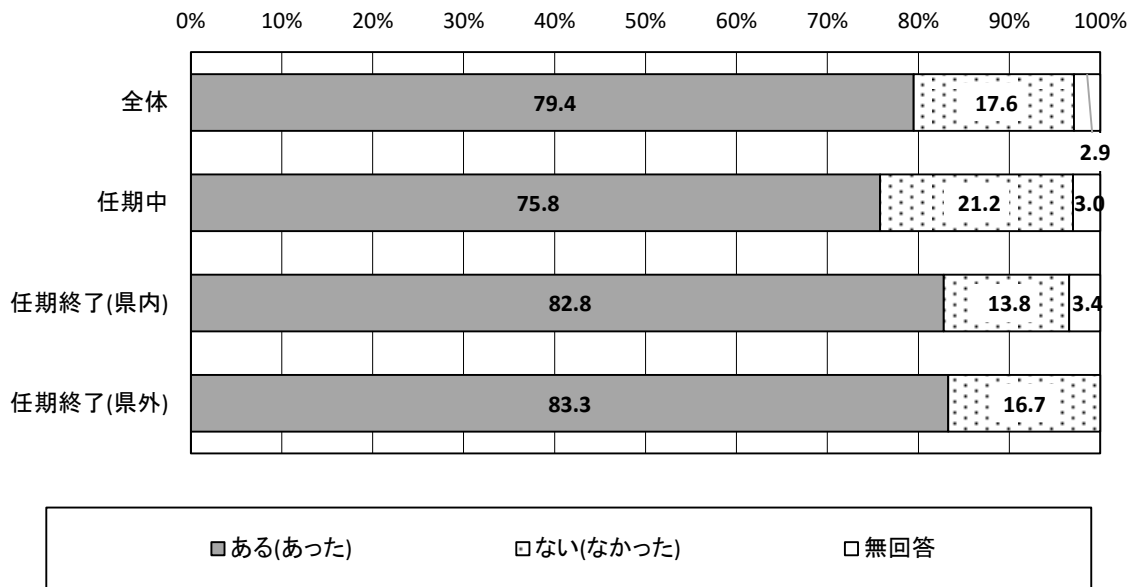


	合計(人)	(満足して いた)	(だいたい 満足して いる)	(あまり 満足し ていな い)	(満足 してい ない)	無 回 答
全体	68	33.8	29.4	27.9	8.8	0.0
任期中	33	30.3	24.2	36.4	9.1	0.0
任期終了(県内)	29	37.9	34.5	24.1	3.4	0.0
任期終了(県外)	6	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0

⑤任期終了後の相談機会

問15 任期中に任期終了後の仕事や定住について考えたり相談したりする機会がありますか（ありましたか）。以下から一つ選んで○をつけてください。

・全体では、79.4%が相談の機会について「ある（あった）」と回答している。

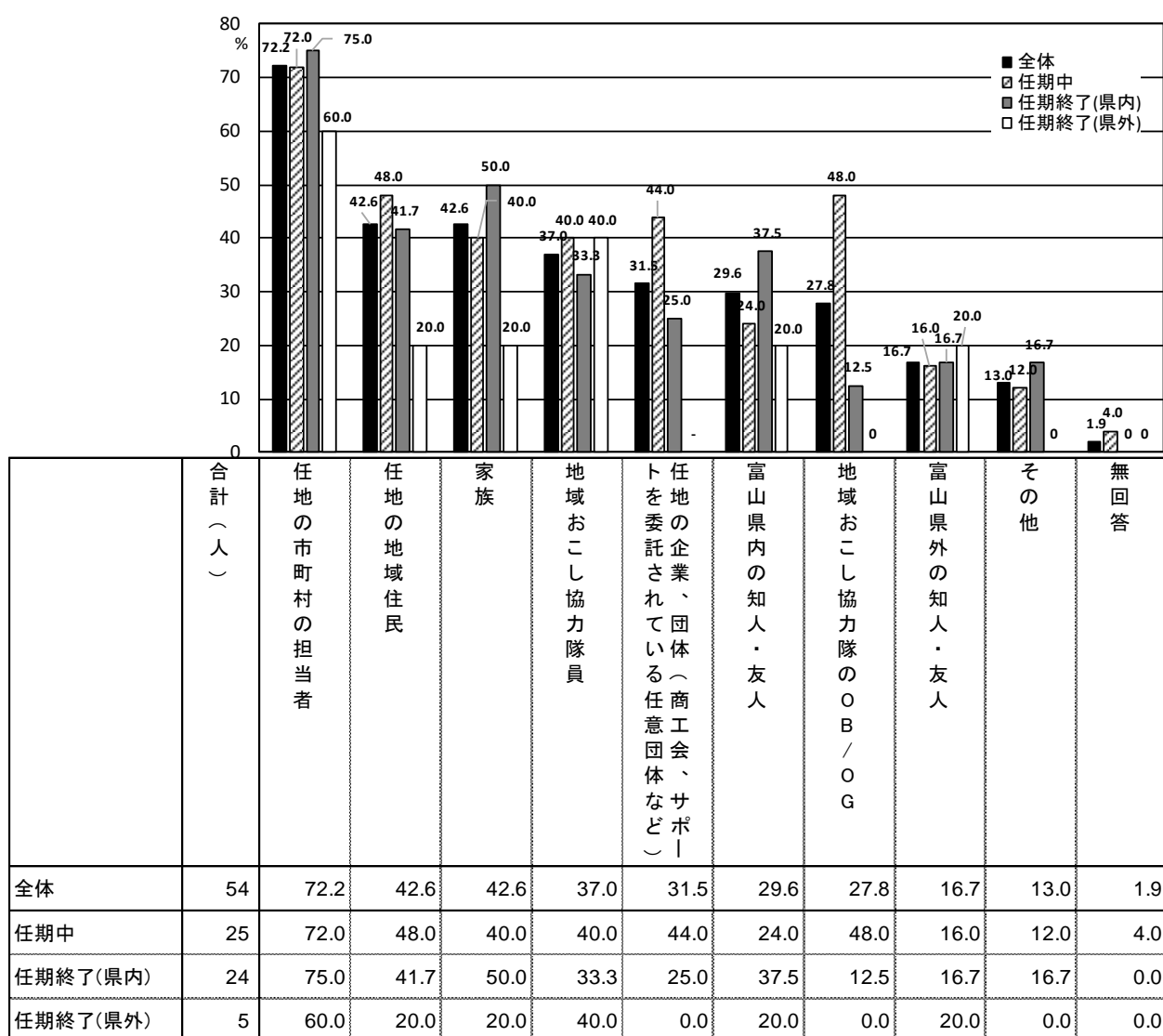


	合計 (人)	ある (あった)	ない (なかった)	無 回 答
全体	68	79.4	17.6	2.9
任期中	33	75.8	21.2	3.0
任期終了(県内)	29	82.8	13.8	3.4
任期終了(県外)	6	83.3	16.7	0.0

⑥相談先

問15-2 問15で「ある（あった）」を選んだ方に伺います。任期後の仕事や定住について、どなたに相談していますか（いましたか）。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- ・全体では、相談先は「任地の市町村の担当者」が72.2%で最も多い。続く「任地の地域住民」「家族」とは約30ポイントの差がある。
- ・任期終了後の県内定住・県外移住別では、県内定住者は県外移住者に比べて、任地の関係者（市町村担当者、地域住民、企業団体）に相談している割合が高い傾向がある。

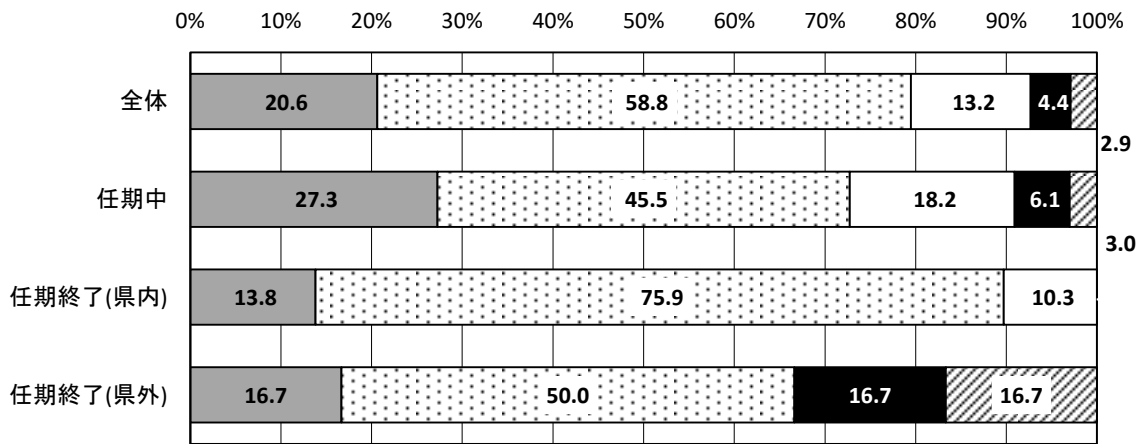


(6) ネットワークづくり

①研修会への参加

問16 あなたは、県が主催する「地域おこし協力隊研修会」に参加されていますか（いましたか）。以下から一つ選んで○をつけてください。

- ・全体では、参加頻度に差はあるが、研修会に参加している（していた）が79.4%となっている。
- ・任期中の隊員をみると、「毎回参加している」と「たまに参加している」との回答の合計が7割であり、「参加していない」との回答が2割である。
- ・任期終了後の県内定住・県外移住別では、「毎回参加している」と「たまに参加している」との回答の合計は県内定住者が89.7%である一方で、県外移住者は66.7%と約22ポイント低い。



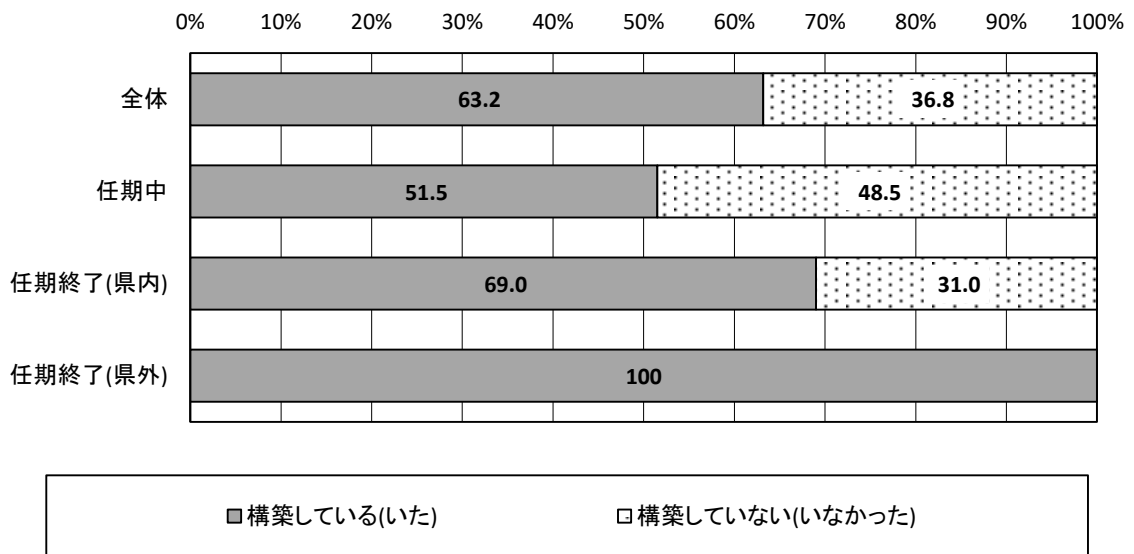
毎回参加している(いた) たまに参加している(いた)
 参加していない(いなかった) 「地域おこし協力隊研修会」を知らなかった
 その他

	合計(人)	毎回参加している(いた)	たまに参加している(いた)	参加していない(いなかった)	「地域おこし協力隊研修会」を知らなかった	その他	無回答
全体	68	20.6	58.8	13.2	4.4	2.9	0.0
任期中	33	27.3	45.5	18.2	6.1	3.0	0.0
任期終了(県内)	29	13.8	75.9	10.3	0.0	0.0	0.0
任期終了(県外)	6	16.7	50.0	0.0	16.7	16.7	0.0

②ネットワーク構築

問17 あなたは、同市町村あるいは他市町村の協力隊員との情報交換の場としてのネットワークを構築しています（していた）か。以下から一つ選んで○をつけてください。ここでいうネットワークは、人と人のリアルなつながりやLINEグループのようなイメージです。

- ・全体では、「構築している（していた）」との回答が63.2%、「構築していない（いなかった）」との回答が36.8%となっている。

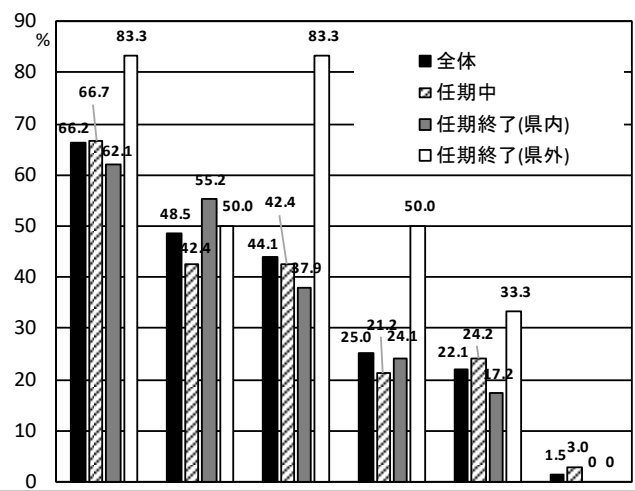


	合計 (人)	(構築 したし てい る)	(構築 なして つたな い)	無 回 答
全体	68	63.2	36.8	0.0
任期中	33	51.5	48.5	0.0
任期終了(県内)	29	69.0	31.0	0.0
任期終了(県外)	6	100.0	0.0	0.0

③ネットワークづくりに効果的な取り組み

問18 あなたにとって、同市町村又は他市町村の協力隊員との情報交換や連携強化、ネットワークづくりに最も効果的だと思うのはどのような取組ですか。行政支援も含めてあてはまるものすべてに○をつけてください。

- ・全体では、「交流会」との回答が最も多く66.2%、ついで「地域おこし協力隊のネットワーク組織の構築・機能強化」の48.5%と続く。
- ・その他の回答には、「各隊員の取り組みの情報共有」、「相互に協力し合える体制等の構築」、「グループワーク」などの回答が見られた。



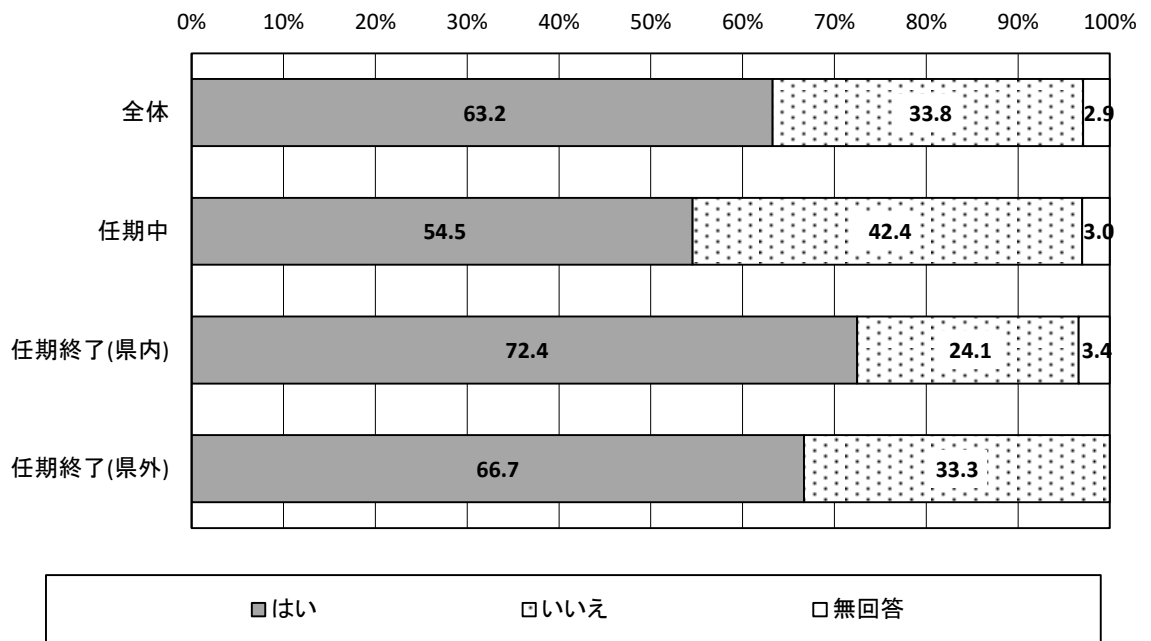
	合計(人)	交流会	地域おこし協力隊のネットワーク組織の構築・機能強化	研修会・セミナーなどの実施	SNSグループなどへの参加	その他	無回答
全体	68	66.2	48.5	44.1	25.0	22.1	1.5
任期中	33	66.7	42.4	42.4	21.2	24.2	3.0
任期終了(県内)	29	62.1	55.2	37.9	24.1	17.2	0.0
任期終了(県外)	6	83.3	50.0	83.3	50.0	33.3	0.0

(7) 起業

①任期終了後の起業

問19 あなたは任期後の起業をお考えですか（でしたか）。以下から一つ選んで○をつけてください。

- ・全体では、「起業を考えている（考えていた）」との回答が、63.2%である。約3割の33.8%は起業を考えていないと回答している。
- ・任期終了後の県内定住・県外移住別では、「起業を考えていた」との回答は県内定住者が、72.4%である一方、県外移住者は66.7%であった。

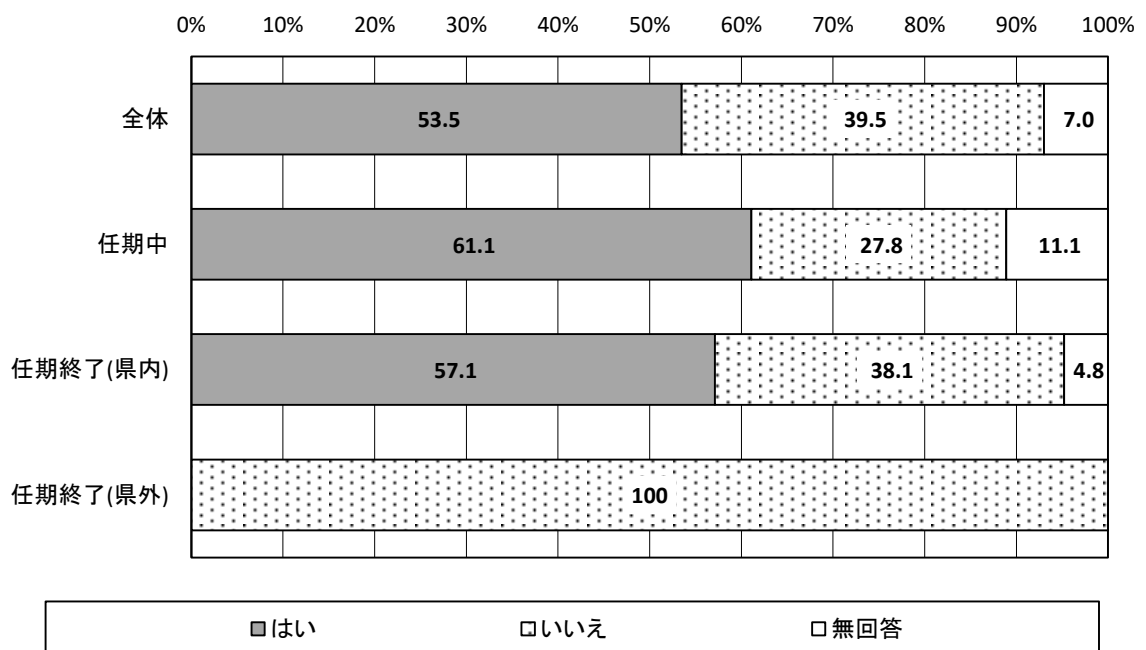


	(合人計)	はい	いいえ	無回答
全体	68	63.2	33.8	2.9
任期中	33	54.5	42.4	3.0
任期終了(県内)	29	72.4	24.1	3.4
任期終了(県外)	6	66.7	33.3	0.0

②行政からの資金支援

問20-1 問19で「はい」を選んだ方に伺います。起業にあたり、自治体から、起業に必要な資金の支援は十分にあったとお考えですか（でしたか）。以下から一つ選んで○をつけてください。

- ・全体では、「必要な資金支援が十分にあった」との回答が53.5%と約5割である。
- ・任期終了後の県内定住・県外移住別では、「必要な資金支援が十分にがあった」との回答は県内定住者が57.1%である一方、県外移住者は「必要な資金支援が十分にあった」との回答はなかった。

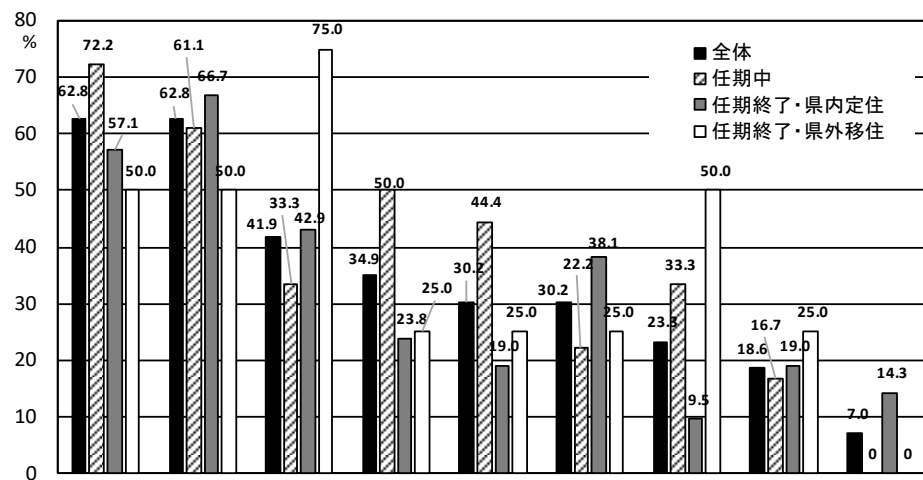


	合計 (人)	はい	いいえ	無回答
全体	43	53.5	39.5	7.0
任期中	18	61.1	27.8	11.1
任期終了(県内)	21	57.1	38.1	4.8
任期終了(県外)	4	0.0	100.0	0.0

③起業の課題

問20-2 問19で「はい」を選んだ方に伺います。起業するうえで、悩んでいること、課題だと思うことは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- ・全体では、「開業資金調達」、「運転資金調達」の回答がともに62.8%と、資金調達を課題と考えている回答者が多い。
- ・任期終了後の県内定住・県外移住別では、「人的ネットワークの構築が課題」との回答は県内定住者が42.9%である一方で、県外移住者の回答が75.0%となっている。

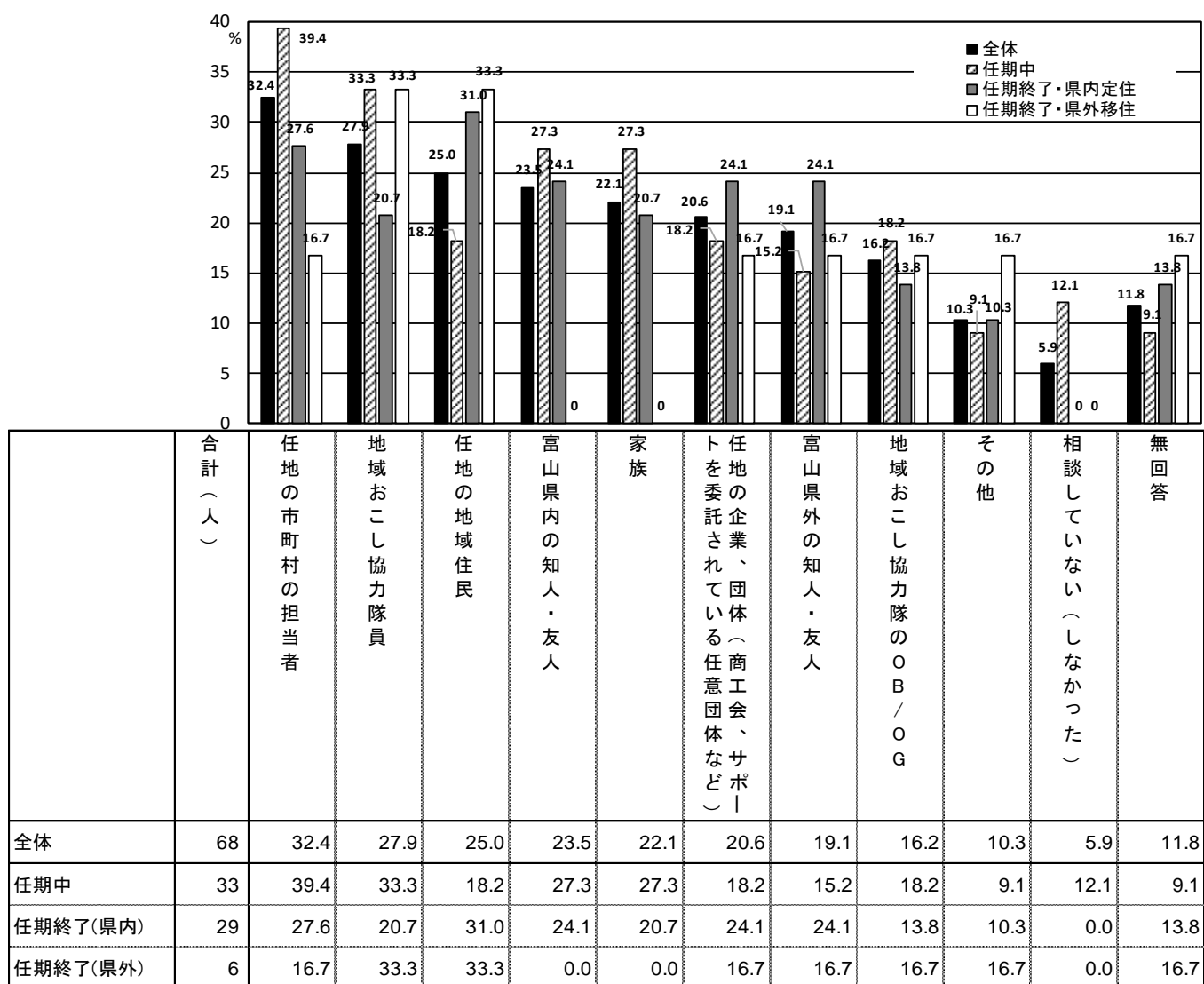


	合計(人)	開業資金調達	運転資金調達	人的ネットワークの構築	事業計画の立案	行政の連携・支援	準備時間の不足	専門家の支援	その他	無回答
全体	43	62.8	62.8	41.9	34.9	30.2	30.2	23.3	18.6	7.0
任期中	18	72.2	61.1	33.3	50.0	44.4	22.2	33.3	16.7	0.0
任期終了(県内)	21	57.1	66.7	42.9	23.8	19.0	38.1	9.5	19.0	14.3
任期終了(県外)	4	50.0	50.0	75.0	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	0.0

④相談先

問 2 1 任期後の起業（継業を含む）について、どなたに相談していますか（いましたか）。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- ・全体では、相談先は「任地の市町村の担当者」との回答が32.4%、ついで「地域おこし協力隊員」との回答が27.9%となっている。
- ・任期終了後の県内定住・県外移住別では、相談先として「任地の市町村の担当者」との回答は県内定住者が27.6%である一方、県外移住者の回答が16.7%にとどまる。



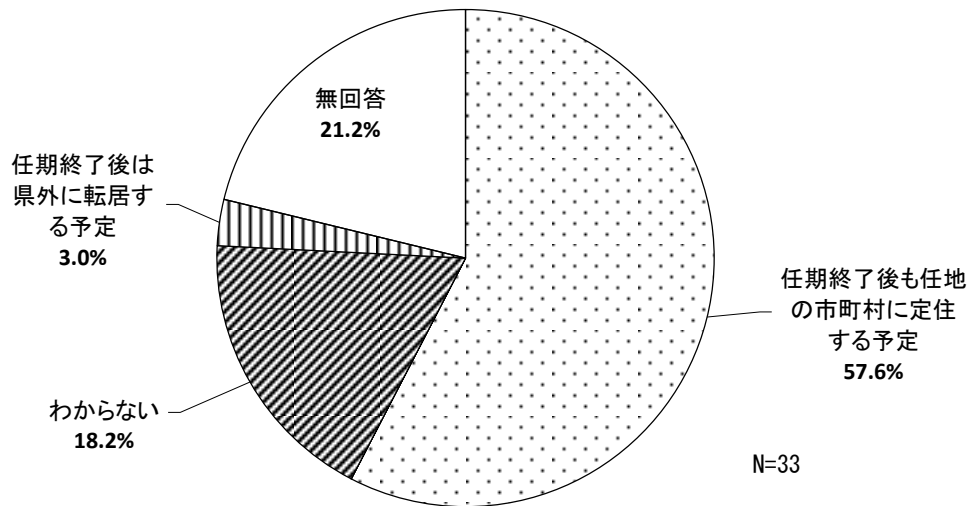
(8) 定住・定着支援

①定住予定

問22 任期中の方に伺います。

あなたは任期終了後も引き続き定住される予定ですか。以下から一つ選んで○をつけてください。

- ・「任期終了後も任地の市町村に定住する予定」との回答が57.6%、「わからない」との回答が18.2%、「任期終了後は県外に転居する予定」との回答が3.0%となっている。

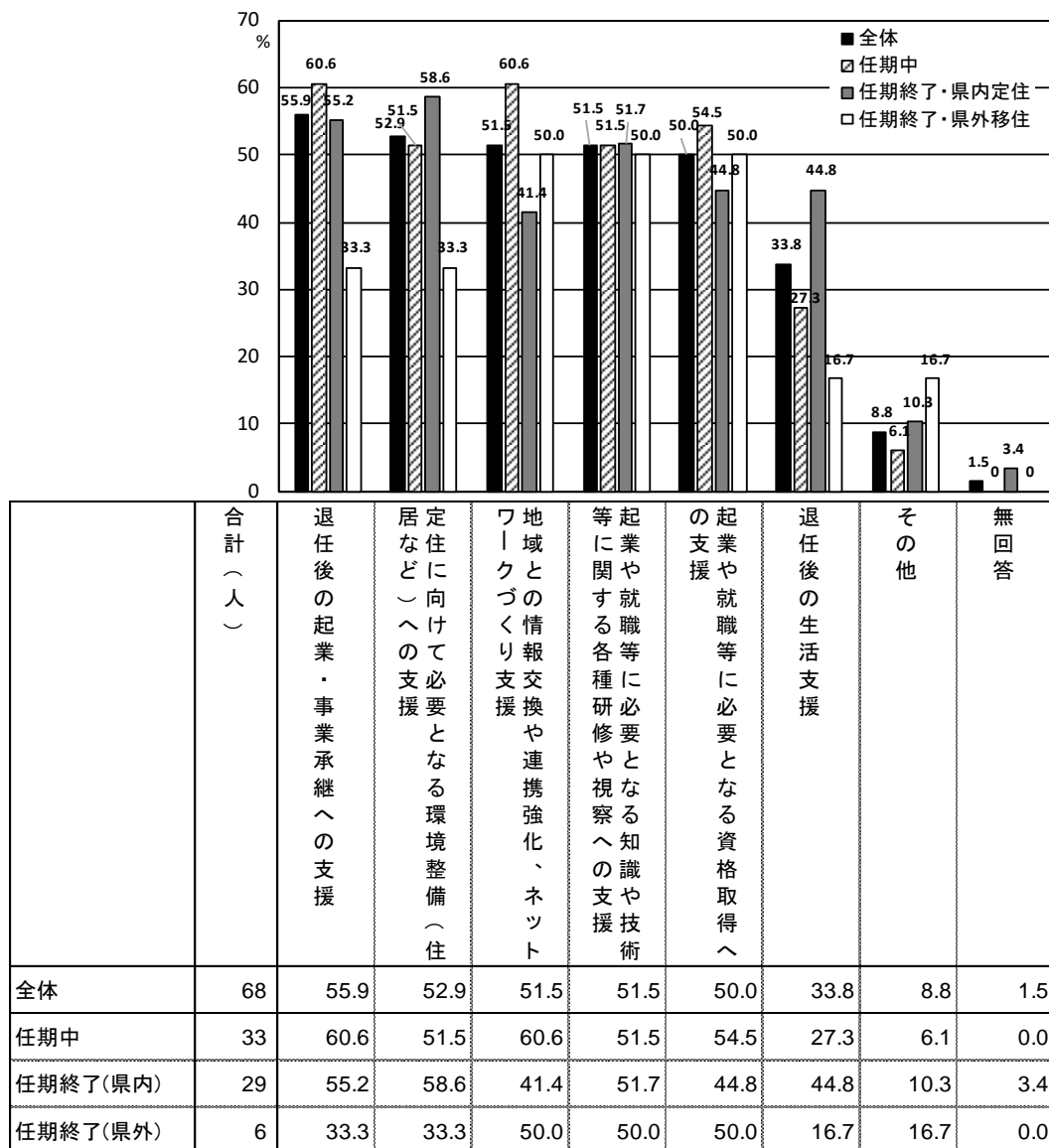


②定住支援

問23 全ての方に伺います。

どのようなサポート・支援策があれば定住につながる（つながった）と思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- ・全体では、「任期終了後の起業・事業承継への支援」の回答が55.9%と最も多い。
- ・任期終了後の県内定住・県外移住別では、県内定住者は「定住に向けた環境整備(住居など)支援」「任期終了後の起業・事業継承への支援」などの回答が多い一方で、県外移住者は「地域との情報交換やネットワークづくり」、「起業や就職等に必要となる資格取得への支援」があれば定住につながったとの回答が多い。



③自由回答

問24 行政（県・市町村）が行う支援や取組、行動等のうち、あってよかった（行ってきてよかった）と思うもの、又は、もっとこういうことをして欲しい（欲しかった）と思うことがあれば、以下にご自由に記入してください。

○「取組等があつてよかった」の主な意見

- ・移住前に、実際に移住する地域の有力者を行政から紹介していただいた。移住後もいろいろその地域の有力者の方に相談に乗っていただいた。
- ・月1回の定例会（別の地域おこし協力隊員も参加されているもの）、地域おこし協力隊員OB、OGや地域のキーパーソンの紹介
- ・県の研修は参考になった（スキルアップのためのセミナー開催も要望したい。）。

○「取組等について、もっとこういうことをして欲しい」の主な意見

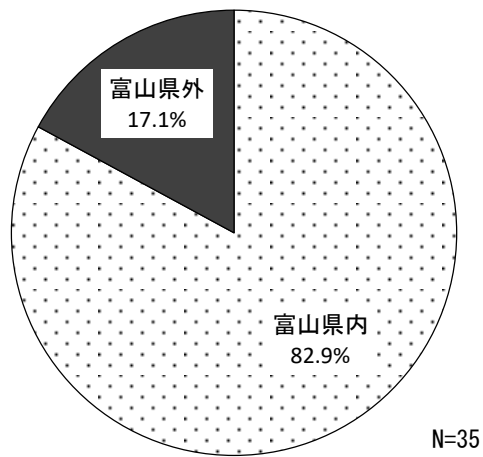
- ・一地区に一人の地域おこし協力隊員でなく、複数人の体制の方が活動しやすいように感じた。
- ・地域おこし協力隊員は移住者であり人のつながりがないため人脈を広げるのに（仕事を円滑に実施するため）協力して欲しかった。
- ・行政で異動があると地域おこし協力隊の理解について温度差があるため、県の研修を受講する等理解に努めて欲しい。
- ・活動内容を特定して欲しかった、活動を行政に見に来てもらいたかった。
- ・地域おこし協力隊の活動をしながら3年間で起業するのは難しく、起業のサポート（目標設定、勤務時間内での起業の時間のための確保、関係者への紹介、人的ネットワーク、相談専門窓口）が欲しかった。
- ・地域おこし協力隊員の心のサポートがあればよかった。
- ・地域に溶け込むための場所や地域おこし協力隊員が自由に集まる場所（ネット上でも）があるとよい。
- ・任期終了後のサポート（仕事の斡旋、紹介等）もして欲しかった。

(9) 任期終了後

①居住地

問25 現在のお住まいはどちらですか。あてはまるものを一つ選んで○をつけてください。

- ・任期終了後の隊員のうち82.9%が富山県内に居住している。

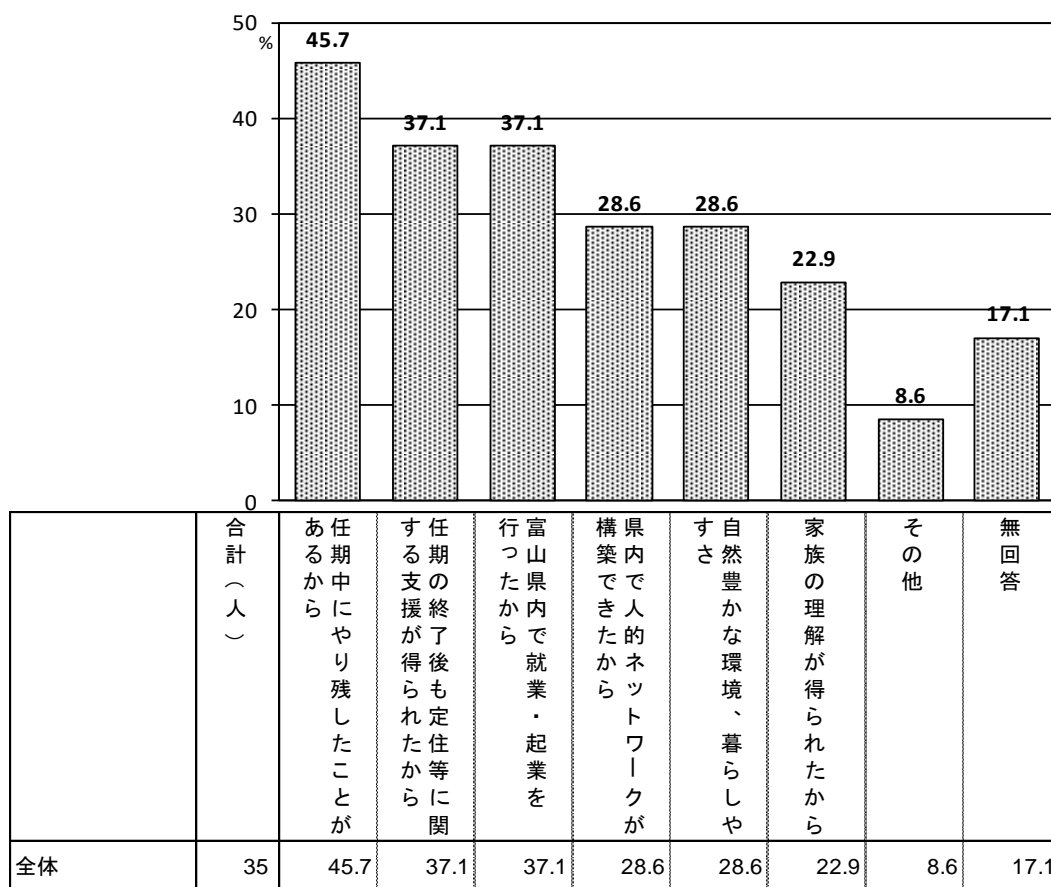


②県内定住理由

問26 富山県内に定住した方に伺います。

あなたが富山県内に定住を決めた理由は何なんですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- ・「任期中にやり残したことがあるから」との回答が45.7%と最も多い。
- ・「任期の終了後も定住等に関する支援が得られたから」「富山県内で就業・起業を行ったから」の回答がそれぞれ37.1%となっている。

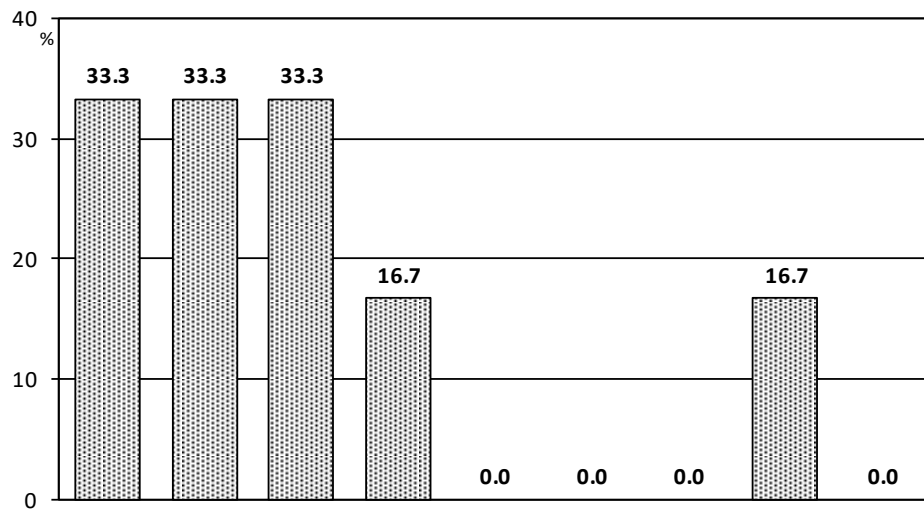


③ 県外移住理由

問 2 7 富山県内に定住しなかった方に伺います。

あなたが富山県内に定住しなかった理由は何なんですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- ・「富山県内で就業・起業を行う目処が立たなかったから」、「(結婚、出産・介護など)家族の環境が変わったから」、「行政の期待と自分の希望との間で差異が生じたから」との回答がそれぞれ33.3%である。

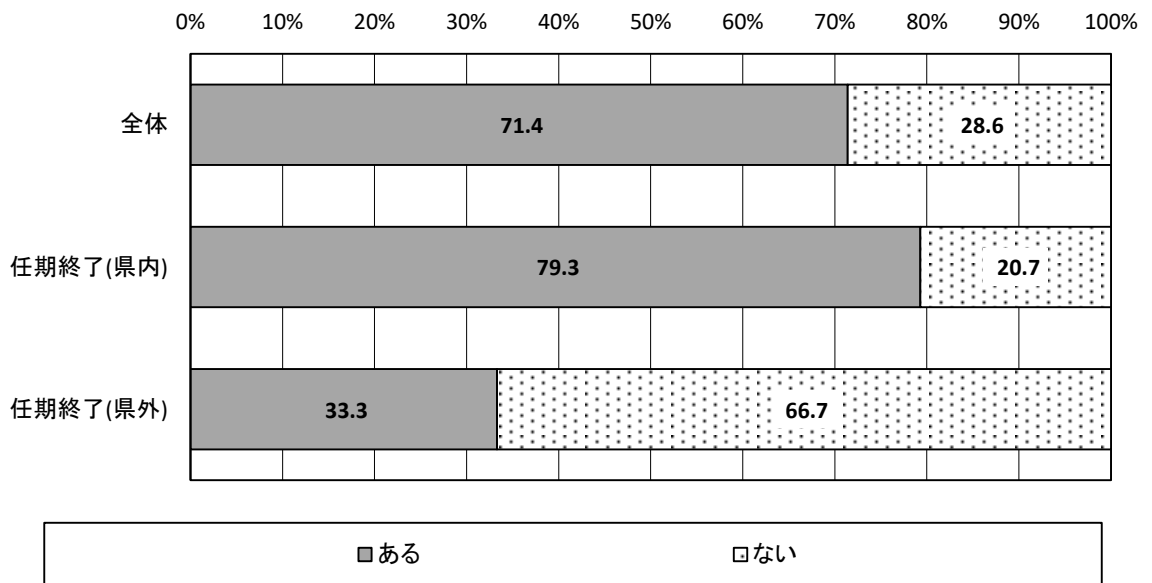


	合計(人)	富山県内で就業・起業を行う目処が立たなかったから	(結婚、出産・介護など)家族の環境が変わったから	行政の期待と自分の希望との間で差異が生じたから	活動地域の住民との間で考えの差異が生じたから	もともと予定していた任期を終了したら戻る予定だったから	家族に富山県内定住(予定)の理解が得られなかったから	地域の解決すべき課題がなかったから	その他	無回答
全体	6	33.3	33.3	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0

④現在の仕事とのかかわり

問28 富山県内での任期が終了された方、みなさんに伺います。
 あなたが地域おこし協力隊の任期中に行った活動は、現在の仕事内容と関わりがありますか。以下から一つ選んで○をつけてください。

- ・全体では、地域おこし協力隊の活動が現在の仕事と関わりがあるとの回答が71.4%であった。
- ・任期終了後の県内定住・県外移住別では、県内定住者の回答が79.3%、県外移住者の回答が33.3%となっている。

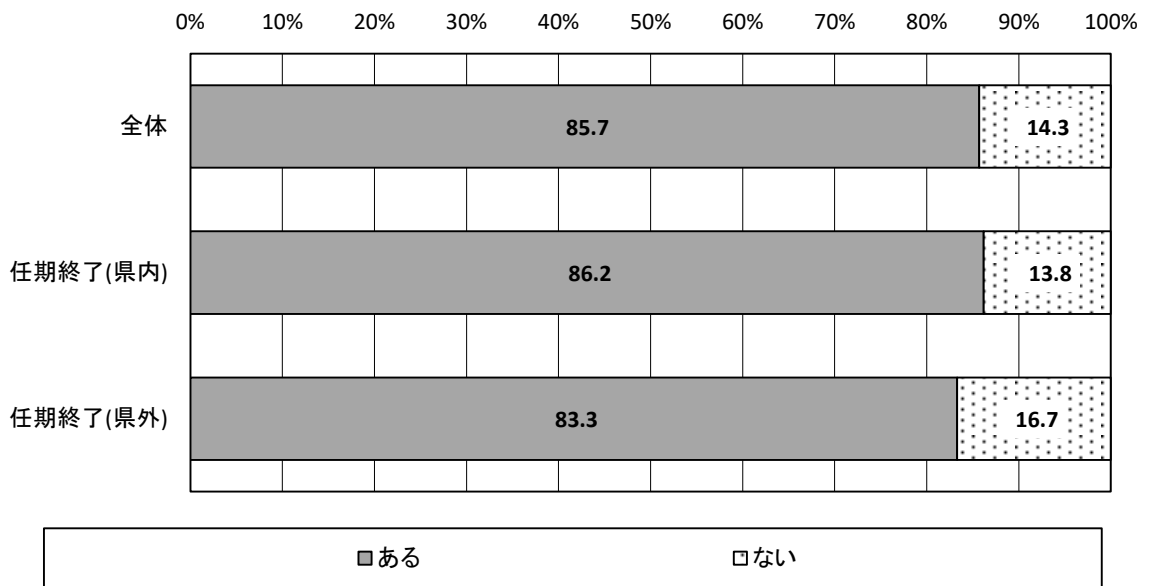


	(合人計)	ある	ない	無回答
全体	35	71.4	28.6	0.0
任期終了(県内)	29	79.3	20.7	0.0
任期終了(県外)	6	33.3	66.7	0.0

⑤活動地域とのかかわり

問29 あなたは、地域おこし協力隊としての活動地域と、現在、関わりがありますか。以下から一つ選んで○をつけてください。

- ・全体では、85.7%と9割近くが任期終了後も地域おこし協力隊の活動地域と関わりを持っていると回答している。
- ・任期終了後の県内定住・県外移住別では、県内定住者と県外移住者との間に大きな差は無い。

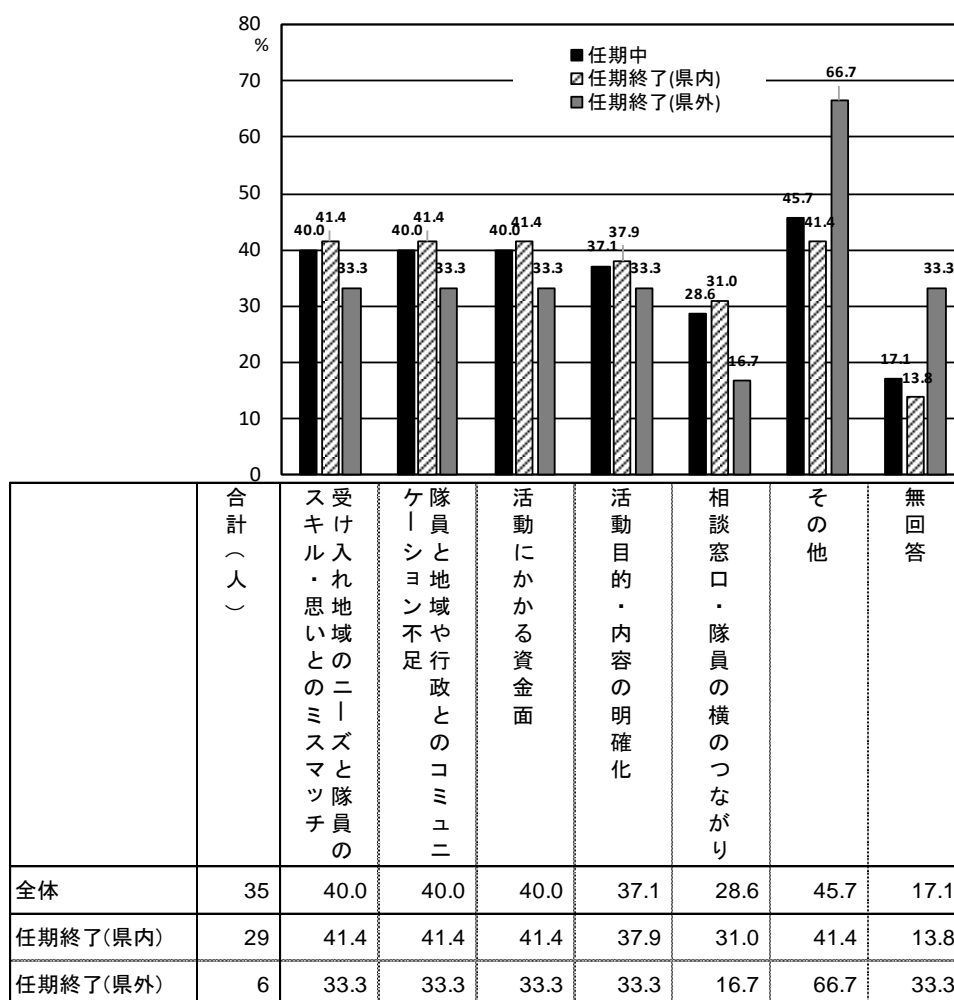


	合計	ある	ない	無回答
全体	35	85.7	14.3	0.0
任期終了(県内)	29	86.2	13.8	0.0
任期終了(県外)	6	83.3	16.7	0.0

⑥課題全般

問30 あなたは、地域おこし協力隊（全般）について、どのようなことが課題だと捉えていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- ・全体では、「受入れ地域のニーズと隊員のスキル・思いとのミスマッチ」、「隊員と地域や行政とのコミュニケーション不足」、「活動にかかる資金面」、「活動目的、内容の明確化」との回答がそれぞれ4割程度である。
- ・その他には、「OB、OGの提案や経験が引き継がれていないこと」、「自治体の目標が明確になっていない、伝えてもらっていないこと」、「行政、地域が地域おこし協力隊の活動を認めること」との回答が見られた。



3. ヒアリング（電話、メール）

今回のアンケート調査について、回答があった任期終了者でヒアリングに協力していただける方（県内在住者、県外在住者）を抽出し、電話、メールによりヒアリングを行った。

○現在も県内在住の元地域おこし協力隊員の主な意見

（1）行政

- ・任期終了後に、起業支援金により支援してもらいありがたかった。
- ・新旧の地域おこし協力隊員の交流会の開催、人の紹介、相談、フォローしていただいた。
- ・地域おこし協力隊員の処遇（他自治体）や仕事の仕方等を教えて欲しかった。
- ・県にも相談窓口があったらよいと思う（相談は一つの機関では解決できないため。）。

（2）地域との関わり

- ・「地域おこし協力隊」がどのようなものか、地域で認識されていなかった。
- ・就任当初、行政主体で挨拶回りをして頂いて、仕事でお世話になる農家さんを何件か回った。また、町内会で顔の広い方に直接つなげていただいたことは、非常にありがたかった。町内への挨拶の仕方や行事など、その後もいろいろと教えていただいた。
- ・あいさつ回りは必要、いろいろな地域・組織と、細くではあるが、つながりができ、その後の接触がしやすくなる。
- ・地域おこし協力隊員を、ボランティアや地域のお手伝いだと勘違いしている人がいた。
- ・町内会の行事には積極的に参加、今は別の町内会に引っ越したが、顔を見れば声をかけてくれる。
- ・テレビや新聞に出演すると認知度が上がり、話のきっかけにもなったし、初めてあった地域の方に「テレビ出てたね～」と声をかけられた。
- ・地元に着ているケーブルテレビなどへの出演は、オファーがあればどんどん出演すればいいと思う。地域おこし協力隊の活動について、県内外へのPRは重要

（3）起業・ネットワークづくり

- ・目的をもって人的ネットワークの構築をしなかったことが悔やまれる。
- ・地域の任意団体の方（アイデアをもらった）や自営業者とつながる機会（アドバイスをいただいた）をいただくことでネットワークを広げ、日頃の活動やイベントなどに活かしていた。
- ・起業に割く時間がほとんどなかったが、赴任先の自治体に起業へのこだわりはなかったように感じた。
- ・起業については地域や地域資源を生かしてと言われ、ハードルが高いと感じた。結局、地域おこし協力隊の業務と別なものとなった。それでも十分価値があると感じる。

（4）研修

- ・研修についてはおおむね良いと思うが、地域おこし協力隊員の参加が少ないと思う。
- ・グループワークでいろんな方から意見が聞けるのは良い機会だが、逆に自治体職員がいることで本音が言えないこともあり、地域おこし協力隊員だけが参加できるような研修があっ

ても良いと思う。

- ・自治体職員は参加して欲しいし、職員対象の研修も必要だと思う。

(5) 定住に向けての感想

- ・経済的に自立できるかどうかや住居がない等の不安があった。
- ・任期終了後の定住支援金が生活の支援となりありがたかった。
- ・起業することは難しいので、地域おこし協力隊員就任時から副業をすることを認め、起業の種を見つけながらの活動であれば、任期終了時には起業できているのではないかと思う。

○現在は県外在住の元地域おこし協力隊員の主な意見

(1) 行政

- ・1年目は地域おこし協力隊員1人に任せられたようなところもありやりにくかったが、2年目からは担当課が設置されたこともあり、仕事がしやすくなった。
- ・任期終了後は地域おこし協力隊員で従事した3年間の知見を活かせる職を用意してもらった。
- ・研修会時に県職員へ相談することもあり、有意義なアドバイスをもらった。

(2) 地域との関わり

- ・地域のNPO法人の会合の際に自分の席があり、仕事を進めていく上で非常にありがたかった。
- ・富山県を離れたが今でも地域から相談を受けるし、一緒に仕事をすることがある。

(3) 起業・ネットワークづくり

- ・活動中からいろんな人と人的ネットワークを構築する必要があると思う。
- ・起業を実現するためには、地域の課題と一緒に取り組むことが大事で、自分がどんな人でどんなことができるかをアピールする必要があると感じた。
- ・活動中に自分に求められていることをしているうちにこのスキルで起業は可能かなと考えていた。

(4) その他

- ・私は自由に市内の活動を許されたが、他市町の地域おこし協力隊員は庁舎から出てはいけない等の制約もあると聞いたので、仕事確保や人脈形成のためには制約をとりはずされた方がいいと思った。
- ・富山はスキルやビジョンを持って働く人が多く、そういう人に出会って話をすれば起業のチャンスがあるように思う。
- ・また、そういう人に出会うと人づてで仕事もらえたりするので、まず生活基盤を確保するのが大事だと思う。

4. 調査結果を受けて

アンケートの結果から、隊員が任地を選ぶ際は、「地方で暮らしたい」「自分の知識を生かしたい」「地域の活性化に役に立ちたい」という動機が多いことがわかる。また、任地の市町村やJOINのホームページ、知人に「任地の活動内容が魅力的かどうか」を確認し、応募している人が多く、市町村からの情報発信については正確で魅力的なものを推進していく必要がある。

また、任地に来られる際には、地域に入ることも多く、地域おこし協力隊員と地域住民との活動の共有や円滑な人的ネットワークを構築することが、その後の定住に結びついていることから、地域おこし協力隊やその活動への理解を深めていただくよう、地域住民への情報発信を推進していくことも重要である。

隊員の任務（活動内容）についての意見はさまざまで、明確にした方がいいという意見もあれば自由にしてほしいという意見もあるが、行政としての目標は明確にしてほしいというのが共通の意見である。目標についても、隊員がやりたいことと行政が期待することが一致していないとの意見や、関係者、地域と意識合わせをして欲しいという意見も多くある。市町村の中には、関係者による月1回の定例会の実施や、地域との会合の際には地域おこし協力隊員の席を確保する等、ネットワークづくりや情報共有に努められているところが円滑に進んでいるようである。

隊員と行政・地域とのミスマッチを解消し、市町のノウハウが共有されるよう、事例や事務の流れについては県が市町村の実施状況を取りまとめ、マニュアル化をする必要がある。

定住に向けて必要な支援として、「起業・継業への支援」、「定住に向けての環境整備」、「ネットワークづくり」などの幅広の回答が隊員から出てきている。特に、起業については、地域おこし協力隊員の約6割が任期後の起業を考えており、「資金調達」、「相談先が不明」、「人的ネットワークの構築が課題」等かなり悩みが深い。

任期終了後の定住の促進を図るためには起業のための資金支援や研修の案内（実施）、相談の窓口設置などが必要である。

今回のアンケート結果がすべてではないが、業務の明確化（行政と隊員との思いや方向性の一致）や、最初の地域への挨拶のための同行、関係者への紹介、研修への参加配慮、定例会の開催等隊員と行政や地域とのコミュニケーションの活性化が定住に結び付くと考えられる。こうした結果を踏まえ赴任先の市町村との連携や県の施策を実施してまいりたい。

5. 参考資料

●調査票

富山県内の地域おこし協力隊に関するアンケート調査

1. あなたご自身のことについて

問1-1 あなたの出身地(都道府県)を、以下にお書きください

_____ 都・道・府・県

問1-2 あなたが活動している(していた)市町村を、以下にお書きください。

_____ 市・町・村

問1-3 あなたの性別を一つ選んで○をつけてください。

1. 男性 2. 女性 3. 答えたくない

問1-4 あなたの年齢をお書き下さい。(R3.4.1現在)

_____ 歳

問1-5 地域おこし協力隊の活動を行う直前の職業を、以下から一つ選んで○をつけてください。

1. 自営業(農林水産業以外)
2. 会社役員
3. 農林水産業
4. 公務員・団体職員
5. 会社員など(正規雇用)
4. 非正規雇用(パートタイム・アルバイト等)
5. 学生
6. 主夫・主婦
7. 無職
8. その他

問1-6 現在、地域おこし協力隊の任期中ですか。以下から一つ選んで○をつけてください。

1. 地域おこし協力隊任期中
2. 地域おこし協力隊は退任

問1-6-1 問1-6で「2. 地域おこし協力隊は退任」を選んだ方に伺います。現在の職業を以下から一つ選んで○をつけてください。

1. 自営業（農林水産業以外）（（具体的な仕事））
2. 会社役員
3. 農林水産業（（具体的な仕事））
4. 公務員・団体職員
5. 会社員など(正規雇用)
4. 非正規雇用(パートタイム・アルバイト等)
5. 学生
6. 主夫・主婦
7. 無職
8. その他

2. 地域おこし協力隊への応募動機について

問2 あなたが「地域おこし協力隊」に応募した理由は何ですか。もっともよくあてはまるものを以下から三つ選んで○をつけてください。

1. 地域の活性化の役に立ちたかったから
2. 知識や経験を活かしたかったから
3. やりがいや達成感を選ぶため
4. 収入を得るため
5. 募集期間や活動期間が適切だったから
6. 地方で暮らしたかったから
7. 任地に定住する手段として
8. その他（ ）

問3 あなたが、協力隊の任地を選んだ理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 活動内容が魅力的だったから
2. 任地とのつながりがあったから
3. 家族の理解が得られやすかったから
4. 周囲に任地を勧められたから
5. 支援体制が充実していたから
6. その他（ ）

問4 あなたが、活動している（いた）地域の「地域おこし協力隊」に応募するにあたり、募集要項や地域の情報を得たのはどのような媒体・ルートからですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 任地の自治体のホームページ
2. 富山県のホームページ
3. 移住・交流推進機構(JOIN)のホームページ
4. 移住や転職に関するフェア・イベント（（イベント名））
5. 富山県内の家族、親戚、友人、知人
6. 富山県外の家族、親戚、友人、知人
7. その他（）

3. あなたと地域や行政との思いの方向性

問5-1 「地域おこし協力隊への応募動機や、隊員としてやりたいこと」と、「行政（市町村）が地域おこし協力隊（あなた）に期待すること」は、どれくらい一致していましたか。以下から一つ選んで○をつけてください。

1. 一致していた
2. ほぼ一致していた
3. あまり一致していなかった
4. 一致していなかった

問5-2 問5-1の回答を選んだ理由を以下にご自由にお書きください。

問6-1 「行政（市町村）が地域おこし協力隊（あなた）に期待すること」と、「地域の住民（又は組織の構成員）があなたに期待すること」は、どれくらい一致していましたか。以下から一つ選んで○をつけてください。

1. 一致していた
2. ほぼ一致していた
3. あまり一致していなかった
4. 一致していなかった

問6-2 問6-1の回答を選んだ理由を以下にご自由にお書きください。

--

4. 地域住民・行政の受入体制について

問7 あなたが活動した地域の住民は、市町村職員から、地域おこし協力隊が来ることについてあらかじめどれくらい周知されておりましたか。以下から一つ選んで○をつけてください。

1. 地域の住民に周知されていた
2. 地域の住民にだいたい周知されていた
3. 地域の住民にあまり周知されていなかった
4. 地域の住民に周知されていなかった

問8 任期中、あなたと地域住民との間に信頼関係がある（あった）と思いますか。以下から一つ選んで○をつけてください。

1. 地域住民との間に信頼関係がある（あった）
2. 地域住民との間にある程度信頼関係がある（あった）
3. 地域住民との間にあまり信頼関係は無い（無かった）
4. 地域住民との間に信頼関係は無い（無かった）

問9 任期中、あなたと地域住民や市町村担当者との間で活動状況の共有はありますか（ありましたか）。以下から一つ選んで○をつけてください。

1. 十分ある（あった）
2. 多少ある（あった）
3. あまり無い（無かった）
4. ほとんど無い（無かった）

問10 任期中、市町村職員（担当者）は、地域おこし協力隊からの意見を踏まえて何らかの対応（説明、改善など）をしてくれますか（してくれましたか）。以下から一つ選んで○をつけてください。

1. 対応してくれている（してくれた）
2. だいたい対応してくれている（してくれた）
3. あまり対応してくれていない（してくれなかった）
4. 対応してくれていない（してくれなかった）

5. 活動状況について

問11 あなたは、「地域おこし協力隊」としてどのような活動に取り組んでいますか（いましたか）。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 地域組織の活動支援 | 2. 地域の情報発信・PR |
| 3. イベントの企画・運営 | 4. 観光資源の企画・開発 |
| 5. 農林水産業 | 6. 移住・定住促進 |
| 7. 空家・空店舗・不動産の活用 | 8. 地域製品の流通・販売 |
| 9. 観光施設・宿泊施設の運営 | |
| 10. その他（ | ） |

問12 任期中の仕事に満足していますか（していましたか。）以下から一つ選んで○をつけてください。

1. 満足している(していた)
2. だいたい満足している(していた)
3. あまり満足していない(していなかった)
4. 満足していない(していなかった)

問13 あなたが、地域おこし協力隊として活動を開始される前、活動に対する「期待度」はどの程度でしたか。以下から一つ選んで○をつけてください。

1. 期待していた
2. ある程度期待していた
3. あまり期待していなかった
4. 期待していなかった

問14 活動を開始後、活動への「満足度」はどの程度ですか（でしたか）。以下から一つ選んで○をつけてください。

1. 満足している
2. やや満足している
3. あまり満足していない
4. 満足していない

問15 任期中に退任後の仕事や定住について考えたり相談したりする機会がありますか（ありましたか）。以下から一つ選んで○をつけてください。

1. ある(あった)
2. ない(なかった)

問15-1 問15で「ある(あった)」を選んだ方に伺います。任期後の仕事や定住について、どなたに相談していますか（いましたか）。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 任地の市町村の担当者
2. 任地の企業、団体（商工会、サポートを委託されている任意団体など）
3. 任地の地域住民
4. 地域おこし協力隊員
5. 地域おこし協力隊のOB/OG
6. 富山県内の知人・友人
7. 富山県外の知人・友人
8. 家族
9. その他（ ）

6. ネットワークづくりについて

問16 あなたは、県が主催する「地域おこし協力隊研修会」に参加されていますか（いましたか）。以下から一つ選んで○をつけてください。

1. 毎回参加している(いた)
2. たまに参加している(いた)
3. 参加していない(いなかった)
4. 「地域おこし協力隊研修会」を知らなかった
5. その他（ ）

問17 あなたは、同市町村あるいは他市町村の協力隊員との情報交換の場としてのネットワークを構築しています（いました）か。以下から一つ選んで○をつけてください。ここでいうネットワークは、人と人のリアルなつながりやLINEグループのようなイメージです。

1. 構築している(いた) （（規模など具体的に））
2. 構築していない(いなかった)

問18 あなたにとって、同市町村または他市町村の協力隊員との情報交換や連携強化、ネットワークづくりに最も効果的だと思うのはどのような取組ですか。行政支援も含めてあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 研修会・セミナーなどの実施
2. SNSグループなどへの参加
3. 交流会
4. 地域おこし協力隊のネットワーク組織（OB・OG含む）の構築・機能強化
5. その他（ ）

7. 起業について

問19 あなたは任期後の起業をお考えですか（でしたか）。以下から一つ選んで○をつけてください。

1. はい（（具体的にはいつ頃ですか（でしたか）））
2. いいえ

問20-1 問19で「はい」を選んだ方に伺います。起業にあたり、自治体から、起業に必要な資金の支援は十分にあったとお考えですか（でしたか）。以下から一つ選んで○をつけてください。

1. はい
2. いいえ

問20-2 問19で「はい」を選んだ方に伺います。起業するうえで、悩んでいること、課題だと思えることは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 開業資金調達
2. 運転資金調達
3. 事業計画の立案
4. 専門家の支援
5. 準備時間の不足
6. 人的ネットワークの構築
7. 行政の支援・連携
8. その他（ ）

9. 任期終了後について

問25～問29は富山県内での任期が終了された方に伺います

問25 現在のお住まいはどちらですか。あてはまるものを一つ選んで○をつけてください。

1. 富山県内
2. 富山県外

問26 富山県内に定住した方に伺います。

あなたが富山県内に定住を決めた理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 任期の終了後も定住等に関する支援が得られたから
2. 富山県内で就業・起業を行ったから
3. 家族の理解が得られたから
4. 県内で人的ネットワークが構築できたから
5. 任期中にやり残したことがあるから
6. 自然豊かな環境、暮らしやすさ
7. その他 ()

問27 富山県内に定住しなかった方に伺います。

あなたが富山県内に定住しなかった理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. もともと予定していた任期を終了したら戻る予定だったから
2. 富山県内で就業・起業を行う目処が立たなかったから
3. 家族に富山県内定住の理解が得られなかったから
4. (結婚、出産・介護など)家族の環境が変わったから
5. 地域の解決すべき課題がなくなったから
6. 行政の期待と自分の希望との間で差異が生じたから
7. 活動地域の住民との間で考えの差異が生じたから
8. その他 ()

問28 富山県内での任期が終了された方、みなさんに伺います。

あなたが地域おこし協力隊の任期中に行った活動は、現在の仕事内容と関わりがありますか。

以下から一つ選んで○をつけてください。

1. ある
2. ない

問29 あなたは、地域おこし協力隊としての活動地域と、現在、関わりがありますか。以下から
一つ選んで○をつけてください。

1. ある(具体的に)
2. ない

問30 あなたは、地域おこし協力隊(全般)について、どのようなことが課題だと捉えていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 受け入れ地域のニーズと隊員のスキル・思いとのミスマッチ
2. 隊員と地域や行政とのコミュニケーション不足
3. 活動目的・内容の明確化
4. 相談窓口・隊員の横のつながり
5. 活動にかかる資金面
6. その他()

10. ヒアリング調査について

全ての方に伺います。

問31 地域おこし協力隊の富山県内への定住促進について、追加のヒアリング調査(9月頃)を
予定しています。メールや電話などによる追加ヒアリング調査にご協力いただくことは可能
でしょうか。

1. ヒアリング調査に協力できる
2. ヒアリング調査に協力できない

問31-1 「1. ヒアリング調査に協力できる」と回答された方は、以下にご連絡先をご記入願
います。おって委託業者からご連絡することがあります。なお、ご回答頂いた個人情報、委
託業者によるヒアリング調査以外に利用することはありません。

お 名 前 _____
メールアドレス _____
お 電 話 番 号 _____

ご協力ありがとうございました。

ご回答いただいた調査票は、同封の富山県庁宛の返信用封筒に入れて、8月20日まで
に投函していただくようよろしくお願いいたします。(切手の貼付は不要です)。時節
柄、暑い日が続きますが、体調管理に気を付けてくれぐれもご自愛くださいますよう
ご祈念申し上げます。